

工事概要書

1. 工事名称その他

工事名称	南相馬市地域子育て支援拠点施設建築主体工事	建築主 (発注者)	南相馬市	建設地 地名地番	福島県南相馬市原町区高見町二丁目22-1の一部	主要用途	地域子育て支援拠点施設	工事種別	(<input checked="" type="radio"/> 新築 ・ <input type="radio"/> 増築 ・ <input type="radio"/> 改築 ・ <input type="radio"/> 模様替 ・ <input type="radio"/> その他)
------	-----------------------	--------------	------	-------------	-------------------------	------	-------------	------	---

2. 敷地状況

敷地面積 2692.93㎡	都市計画区域 <input checked="" type="radio"/> 内・市街化区域 ・市街化調整区域 <input type="radio"/> 区域区分非設定 ・外	用途地域 <input checked="" type="radio"/> 有 (準工業地域) ・無	防火地域 ・防火 ・準防火 <input checked="" type="radio"/> 無	道路種別幅員 ・前面道 6.523~11.414m ・右側面道 m ・背面道 m ・左側面道 m	都市計画道路 <input checked="" type="radio"/> 無・計画決定・事業決定 ・名称幅員 ・処置	規制地域の指定 <input checked="" type="radio"/> 騒音規制 ・振動規制 ・その他	その他の許可届出等(根拠法令等・届出・許可番号・年月日)
------------------	---	---	---	--	--	---	------------------------------

3. 構造・規模面積

項目	計画部分	計画以外の部分	合計	棟別名	構造	基礎工法	階数	建築面積	床面積					合計
									1階	2階	3階	4階	5階	
建築面積	1090.23㎡	0㎡	1090.23㎡	南相馬市地域子育て支援拠点施設	木造	布基礎 (柱状改良)	1	1090.23㎡	991.89㎡					991.89㎡
延べ床面積	991.89㎡	0㎡	991.89㎡					㎡						㎡
増築予定	その他(ビロティ・バルコニー・ドライエリア・屋外階段・ぬれえん・吹抜等)							㎡						㎡
・有								㎡						㎡
<input checked="" type="radio"/> 無								㎡						㎡
								㎡						㎡
								㎡						㎡

4. 法規制概要

項目	計画実施概要	規制概要	備考 (参照図面等)	項目	計画実施概要	規制概要	備考 (参照図面等)	項目	計画実施概要	規制概要	備考 (参照図面等)		
												建ぺい率	40.48%
容積率	36.83%	200%		延焼のおそれのある部分	外壁(軒裏)	準防火性能	法22条地域	法チェック平面図	屋内消火栓設備	設計図にて図示	延床面積 1,000㎡以上	任意で設置	
斜線制限	道路	-	適用距離:20m 傾斜勾配1.5		開口部	準防火性能	法22条地域	法チェック平面図	自動火災報知設備	設計図にて図示	延床面積 1,000㎡以上	任意で設置	
	隣地	-	高さ31m 傾斜勾配2.5		防火区画	位置	保育室、小屋裏桁行12m以内ごと	木造300㎡以上	法チェック平面図	消防機関に通報する火災報知設備	設計図にて図示	延床面積 1,000㎡以上	任意で設置
北側(日影規制)	-	規制なし	構造	114条2項、3項区画		用途による制限	法チェック平面図・天伏図	誘導標識	設計図にて図示	全てに該当			
最高の高さ	8.948m	規制なし		区画部の外壁	-	該当なし							
最高の軒の高さ	3.512m	規制なし		貫通部の処理	114条2項、3項区画	114条2	法チェック平面図・天伏図						
床高	0.579m	0.450m以上		開口部に設けられる防火設備(開口部設備)	防火設備	準耐火構造	法チェック平面図						
地域・規模等による構造(耐火・準耐火)	-	法22条地域		開口部設備とその位置感知器	-	該当なし							
				内装制限	難燃材料等(居室) 準不燃材料等(通路部分)	延床200㎡以上	内部仕上表						
階段	幅員(踊場)	-	該当なし	廊下の幅員	1.2m以上	1.2m以上	福島県福祉のまちづくり条例	その他					
	蹴上・踏面	-	該当なし	階段の数及び種類	-	該当なし							
	手摺高	-	該当なし	階段までの歩行距離	-	該当なし							
屋上広場等の手摺高(バルコニー含)	-	該当なし		排煙	窓による自然排煙	居室床面積の1/50以上	法チェック平面図						
有効採光面積	窓による採光確保	居室床面積の1/7.1/20以上	法チェック平面図	非常用照明	非常用照明設置	延床1000㎡以上 設置義務	非常用照明計画図						
居室の換気	窓による自然換気	居室床面積の1/20以上	法チェック平面図	非常用の進入口	-	該当なし							
避雷針	-	該当なし		敷地内避難通路	敷地内通路1.5m	延床1000㎡以上 設置義務	法チェック平面図						
便所・浄化槽	下水道へ接続	下水道整備地域		非常出口の解錠方法及び表示	パニックオープン	避難経路のため、非常時開錠	建具表						

設計者	UDS株式会社	工事名称	南相馬市地域子育て支援拠点施設	図面名称	工事概要書 No. 1	図面番号	No. -
				設計年月	令和7年 6月		

5. 工事範囲
(○印をつけたものが該当する。)

Table with columns for '種別' (Category), '有' (Included), '無' (Excluded), and '備考' (Remarks). Categories include 電気 (Electrical), 給排水衛生 (Water/Sanitation), 空気調和 (HVAC), 昇降機 (Elevators), 備品等 (Furniture), 外構 (Exterior), and その他 (Others).

6. 建築・電気機械各工事の分組区分表
(※適用欄○印が該当する。)

Main table for construction and electrical work. Columns include '工事区分' (Work Division), '建築' (Construction), '空調' (HVAC), '衛生' (Sanitation), '電気' (Electrical), '昇降機' (Elevators), and '備考' (Remarks). Rows list various tasks like '機械搬入口の設置', '配管配線', '基礎工事', etc.

Table for detailed work items and specifications. Columns include '工事区分' (Work Division), '建築' (Construction), '空調' (HVAC), '衛生' (Sanitation), '電気' (Electrical), '昇降機' (Elevators), and '備考' (Remarks). Rows list specific items like '地震感知器の配管配線', '換気扇', '照明器具', etc.

実施設計図書 目次

区分	図面番号	図面名称	縮尺	区分	図面番号	図面名称	縮尺	区分	図面番号	図面名称	縮尺	区分	図面番号	図面名称	縮尺
<意匠>				<意匠>				<外構>				<構造>			
建築	A-01	建築主体工事特記仕様書(1)	-	建築	A-33	展開図-1	1/50	外構	L-01	舗装平面計画図	1/100	構造	S-01	木質工事特記仕様書	-
建築	A-02	建築主体工事特記仕様書(2)	-	建築	A-34	展開図-2	1/50	外構	L-02	舗装平面計画図	1/100	構造	S-02	木造軸組接合部標準図(1)	-
建築	A-03	建築主体工事特記仕様書(3)	-	建築	A-35	展開図-3	1/50	外構	L-03	中高木植栽平面計画図	1/100	構造	S-03	木造軸組接合部標準図(2)	-
建築	A-04	建築主体工事特記仕様書(4)	-	建築	A-36	展開図-4	1/50	外構	L-04	低木地被植栽平面計画図	1/100	構造	S-04	木造軸組接合部標準図(3A)	-
建築	A-05	建築主体工事特記仕様書(5)	-	建築	A-37	展開図-5	1/50	外構	L-05	詳細図-1	図示	構造	S-05	木造軸組接合部標準図(3B)	-
建築	A-06	建築主体工事特記仕様書(6)	-	建築	A-38	展開図-6	1/50	外構	L-06	詳細図-2	図示	構造	S-06	木造軸組接合部標準図(3C)	-
建築	A-07	建築主体工事特記仕様書(7)	-	建築	A-39	展開図-7	1/50	外構	L-07	詳細図-3	図示	構造	S-07	木造軸組接合部標準図(4)	-
建築	A-08	建築主体工事特記仕様書(8)	-	建築	A-40	展開図-8	1/50	外構	L-08	詳細図-4	図示	構造	S-08	木造軸組接合部標準図(5)	-
建築	A-09	建築主体工事特記仕様書(9)	-	建築	A-41	展開図-9	1/50	外構	L-09	詳細図-5	図示	構造	S-09	木造軸組接合部標準図(6)	-
建築	A-10	建築主体工事特記仕様書(10)	-	建築	A-42	展開図-10	1/50	外構	L-10	詳細図-6	図示	構造	S-10	布基礎リスト・独立基礎リスト・地中梁リスト	1/40
建築	A-11	付近見取図	1/1500 1/5000	建築	A-43	展開図-11	1/50	外構	L-11	詳細図-7	図示	構造	S-11	地盤改良柱状体伏図	1/200
建築	A-12	外部仕上表	-	建築	A-44	展開図-12	1/50					構造	S-12	ポーリング図と基礎深さ・基礎伏図	1/200
建築	A-13	内部仕上表(1)	-	建築	A-45	展開図-13	1/50					構造	S-13	仕様部材・土台、大引伏図	1/200
建築	A-14	内部仕上表(2)	-	建築	A-46	展開図-14	1/50					構造	S-14	筋交い・面材の配置図	1/200
建築	A-15	求積図	-	建築	A-47	展開図-15	1/50					構造	S-15	小屋梁伏図	1/200
建築	A-16	敷地求積図	1/500	建築	A-48	展開図-16	1/50					構造	S-16	天井用CLTの配置図	1/200
建築	A-17	配置図兼屋根伏図	1/200	建築	A-49	展開図-17	1/50					構造	S-17	母屋・垂木伏図	1/200
建築	A-18	平面図	1/200	建築	A-50	展開図-18	1/50					構造	S-18	金物の配置図	1/200
建築	A-19	法チェック平面図	1/200	建築	A-51	展開図-19	1/50					構造	S-19	軸組図(1)	1/100
建築	A-20	断面図	1/200	建築	A-52	展開図-20	1/50					構造	S-20	軸組図(2)	1/100
建築	A-21	立面図(1)	1/200	建築	A-53	展開図-21	1/50					構造	S-21	CLT接合詳細図	1/100
建築	A-22	立面図(2)	1/200	建築	A-54	展開図-22	1/50					構造	S-22	鉄筋コンクリート構造 標準仕様書	1/40
建築	A-23	天伏図	1/200	建築	A-55	展開図-23	1/50								
建築	A-24	建具キープラン	1/200	建築	A-56	展開図-24	1/50								
建築	A-25	建具表(1)	1/100	建築	A-57	展開図-25	1/50								
建築	A-26	建具表(2)	1/100	建築	A-58	展開図-26	1/50								
建築	A-27	内部建具表	1/100	建築	A-59	展開図-27	1/50								
建築	A-28	平面詳細図(1)	1/100	建築	A-60	展開図-28	1/50								
建築	A-29	平面詳細図(2)	1/100	建築	A-61	敷地内排水・敷地前面道路整備計画図	1/200								
建築	A-30	矩計図A-A(南側)	1/50	建築	A-62	集水樹リスト	1/20								
建築	A-31	矩計図B-B(西側)	1/50												
建築	A-32	ポンプ室・設備基礎・その他詳細図	1/50												

福島県建築関係工事特記仕様書【R7年1月版】

I 工事概要

Table with 3 columns: 1 工事名称 (南相馬市地域子育て支援拠点施設建設主体工事), 2 工事場所 (福島県南相馬市原町区高見町二丁目22番地の7), 3 建物概要 (Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積, 消防法施行令別表第1区分, 備考)

4 電気設備工事概要

Table with 2 columns: 電気設備 (電力貯蔵設備, 発電設備), 中央制御装置 (監視装置, 管理対象)

5 機械設備工事概要

Table with 2 columns: 空調設備 (空調機, 送風機), 給水設備 (ポンプ, 配管), 排水設備 (排水ポンプ, 排水管), 消火設備 (消火栓, 消火器), ガス設備 (ガス配管)

II 工事仕様

- 1 図面及び本特記仕様書に記載無き事項は、次にによる。
2 項目は、番号の前に○印、または番号に○印の付いたものを適用する。
3 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
4 形状寸法の単位は、特記した場合を除きミリメートルとする。
5 各章の特記事項欄にある「[黒:]」と表示されているものは、「建築関係工事共通仕様書」を示し、「[青:]」書きは「公共建築工事標準仕様書」、[赤:]書きは「公共建築改修工事標準仕様書」の章・節・項番号である。
6 本特記仕様書に選択項目がない場合は、空欄等に仕様を記載する。

Main specification table with columns: 項目 (1 適用基準等, 2 施工条件, 3 工事実施データの作成, 4 技師士, 5 イメージアップ, 6 発生材の処理, 7 監督員事務所, 8 工事用表示板, 9 施工履歴, 10 色彩計画, 11 使用材料等, 12 特別な材料の工法, 13 風荷重等, 14 記録報告, 15 電子納品, 16 完成時の提出書類, 17 完成図(施工図及び施工計画書を除く), 18 設計CADデータ貸与, 19 工事検査)

Table with 3 columns: 1 一般共通事項 (20 建設工事使用機械等, 21 設計GL, 22 既存部分等への処理, 23 施工等との取合い, 24 建築材料設備機器等, 25 電気工事士, 26 火災保険等, 27 官公庁への手続き等, 28 概成工期, 29 BELS申請書作成及び申請手続き, 30 連休2日促進工事, 31 入札仕様書兼活用方式, 32 情報共有システム, 33 運搬場所, 34 建設キャリアアップシステム(CCUS), 35 その他), 2 仮設工事 (1 仮囲い, 2 危険防止, 3 足場, 4 工事用水, 5 工事用電力, 6 工事用進入路, 7 ベンチマーク, 8 交通誘導警備員, 9 仮設関係), 3 土工事 (1 埋戻し及び盛土, 2 建設発生土の処理)

1 〇 1 支持地盤

- 杭基礎
 - 支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む)
 - 図示による
- 〇 直接基礎
 - 支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)
 - 〇 図示による
 - 長期設計支持力度
 - 〇(70) kN/m2
- 地盤の載荷試験
 - 行う
 - 試験の位置、方法等は図示による

2 既製コンクリート杭地業

種類

- 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
- 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
- SC杭の鋼管材料 SKK400 SKK490
- プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
- ()

試験掘

- あり 孔径はオーガー径とする 位置等は図示による
- 試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う
- なし

寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分)

種別	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭					
本杭	上杭 中杭 下杭					

試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う ()

試験杭の位置、本数 ※最初の一本 図示による

杭先端部形状

- 開放形
- 半開放形
- 閉そく形
- ()

施工方法

- 打込み工法(油圧ハンマー・ディーゼルハンマー)
- プレボーリングの併用
- 行う
- 掘削深さ及び径
- 図示による
- 行わない
- 打込杭推定支持力の算定
- 図示による

杭の精度

- 水平方向の位置ずれ 杭径の1/4かつ100mm以下 ()
- 杭の傾斜 1/100以内 ()

セメントミルク工法

- アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
- 1.5m程度 ()
- 杭の支持地盤への根入れ深さ
- 1.0m以上 ()

杭の精度

- 水平方向の位置 杭径の1/4かつ100mm以下 ()
- 杭の傾斜 1/100以内 ()

特定埋込杭工法

- H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で
- $\alpha = 250$ を採用できる工法 図示による
- 上記以外の特定埋込杭工法 図示による

工法

- プレボーリング拡大根固め工法
- 中掘り拡大根固め工法
- ()
- 杭周固定液
- 使用する
- 使用しない

杭の精度

- 水平方向の位置 杭径の1/4かつ100mm以下 ()
- 杭の傾斜 1/100以内 ()

杭継手工法

- アーク溶接継手
- 継手 4.3.6による
- 溶接材料
- 継手 7.2.5(1)(2)による 継手 7.2.5(1)(2)以外()
- 無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
- 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法
- 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目
- 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による

杭頭処理

- ※[県:第2編 4.3.8]による ()
- 杭頭補強用コンクリート型枠
- ※鋼製型枠 ()
- 杭頭補強
- ※[県:第2編 図4.3.1~4.3.2]による 図示による

3 鋼杭地業

寸法、継手、性能等 (4.2.2)(4.4.3)

種別	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭					
本杭	上杭 中杭 下杭					

1 地業工事

試験杭 (4.2.2)

- 試験杭の位置、本数及び寸法
- 図示による

杭の材料 (4.4.3)

- 図示による

溶接材料

- 標準仕様書7.2.5による

施工方法

- 標準仕様書4.3.5による

杭の精度 (4.4.4)

- 水平方向の位置ずれ
- 杭径の1/4以内かつ100mm以下
- 杭の傾斜
- 1/100以内 評定条件又は設定条件による

杭の現場継手 (4.4.5)

- 溶接継手 (4.4.3)(7.2.5)
- 形状
- JIS A 5525による
- 溶接材料
- 継手 7.2.5(1)(2)による 図示による
- 溶接部の確認方法
- 継手 7.6.10による
- 抜き取り率
- 全数
- 無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
- 工法
- ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法
- 検査
- ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目
- 施工
- ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による

杭頭の処理(切断方法) (4.4.6)

- 処理しない(切断しない)
- 処理する
- 処理方法(切断及び補強方法)
- 図示による

杭頭の中詰め材料

- 基礎のコンクリートと同調合のもの

4 場所打ちコンクリート杭地業

杭径、長さ、仕様等

- 図示による ()

材料その他

- 帯筋 図示による
- 鉄筋の最小かぶり厚さ 図示による
- セメントの種類
- ※高炉セメントB種 () (4.5.4)(6.3.1)
- コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1)
- A種 B種
- 審査(評定又は大臣認定)された内容による
- コンクリートの設計基準強度 ()N/mm2 (4.5.4~6)
- 構造体強度補正値(S) (4.5.4)
- 3N/mm2
- 審査(評定又は大臣認定)された内容による
- ()

掘削工法 (4.5.1)(4.5.5~6)

- アースドリル工法
- 安定液 使用する 使用しない
- リバース工法
- オールケーシング工法
- 孔内の水張り 行う 行わない

併用する工法

- 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による
- 鋼管巻き材料 SKK400 SKK490 ()
- 拡底杭工法 図示による
- 安定液 使用する 使用しない
- ()

試験杭 (4.2.2)(4.5.5~6)

- 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う ()
- 試験杭の位置、本数 ※最初の一本 図示による

孔壁測定 (4.5.5~6)

- 行う
- 測定方法、測定箇所は図示による
- 行わない

杭の精度

- 水平方向の位置ずれ 100mm以下 ()
- 杭の傾斜 1/200以内 ()

工法

- 浅層混合処理工法
- (セメント系固化材を用いた工法による改良)
- 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
- 長期設計支持力
- ()kN/m2 ()
- 〇深層混合処理工法
- 〇適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
- 長期設計支持力
- 〇(70) kN/m2 ()

6 置換コンクリート地業(ダブルコンクリート地業)

形状、支持地盤、仕様

- 図示による

長期設計支持力

- ()kN/m2 ()

セメントの種類 (6.3.1)

- 高炉セメントB種 ()
- コンクリートの設計基準強度 ()N/mm2
- 構造体強度補正値(S)=()N/mm2

1 地業工事

7 液状化対策

工法 ()

- 仕様、範囲、計測、試験等
- 図示による

〇 8 砂利地業 (4.6.2)

材料

- ※再生クラッシュラン
- 切込砂利及び切込砕石

厚さ、幅及び使用範囲 (4.6.3)

地業	幅(mm)	厚さ(mm)
砕石	フーチング各外面より+50から200	〇150 ()
砂利	フーチング各外面より+150	・60 ・150

〇 9 捨てコンクリート (4.6.4)(6.14.1~3)

コンクリートの仕様

- ※無筋コンクリートによる () (6.14.1~3)

セメントの種類

- 高炉セメントB種 () (6.3.2)

厚さ、幅及び使用範囲 (4.6.4)

部位	幅(mm)	厚さ(mm)
基礎	フーチング各外面より+50	※50 ()
地中ばり	フーチング各外面より+50	※50 ()

〇 10 床下防湿層 (4.6.5)

施工範囲

- 〇建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)
- ()

材料

- 〇ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
- ()

防湿層の位置

- 図示による ()

2 鉄筋工事

〇 1 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名(mm)	備考
SD295	CD10	〇D13
SD345	D10	D13

2 溶接金網 (5.2.2)

形状等

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
溶接金網			
鉄筋格子			

〇 3 鉄筋の継手 (5.3.4)(5.5.2)

継手方法等

部位	継手方法	呼び名(m)
柱、梁の主筋	ガス圧接	機械式継手
耐力壁の鉄筋	重ね継手	
その他の鉄筋()	※重ね継手	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4)

- 図示による

継手位置図

- 図示による

鉄筋の定着方法 (5.3.4)

- ※重ね継手 40d

〇 4 鉄筋の定着の方法及び長さ (5.3.4)

鉄筋の定着長さ

- ※35d ()

〇 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5)

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)

- ※50mm ※(基礎:70mm)

柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無

- 有り 適用箇所()
- 最小かぶり厚さ
- 鉄筋径の1.5倍以上
- ()
- 〇無し

軽量コンクリートで土に接する部分

- 〇無し
- 有り 適用箇所()
- 図示による
- ()

耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)

- 〇無し
- 有り 適用箇所()
- 図示による
- ()

鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) (5.3.5)(図5.3.6)

- 〇25mm
- ()

6 特殊な鉄筋継手

- 機械式継手
- 使用箇所 () (5.5.2)
- 〇無し () (5.5.2)
- 性能(H12告示第1463号に適合するもの)
- A級 () (5.5.2)
- 機械式継手の種類() (5.5.2)
- 鉄筋相互のあき () (5.3.5)
- 図示による ()
- 品質の確認方法 () (5.6.3)
- 図示による ()
- 不良となった継手の修正方法等 () (5.6.3)
- 図示による ()

- 溶接継手
- 使用箇所 () (5.6.3)
- 〇無し () (5.6.3)
- 性能(H12告示第1463号に適合するもの)
- A級 () (5.6.3)
- 溶接継手の工法() (5.6.3)
- 鉄筋相互のあき () (5.3.5)
- 図示による ()
- 品質の確認方法 () (5.6.3)
- 図示による ()
- 不良となった継手の修正方法等 () (5.6.3)
- 図示による ()

2	鉄筋工事	7 各部配筋	各部配筋 ※ 図示による () (5.3.7)	4	鉄骨工事	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3) ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ S ・ H O M ・ R ・ J グレード ・ 監督員の承認する工場(標仕 7.1.1 以外の適用範囲に限る。)	4	鉄骨工事	15 鉄骨の製作精度	※ 標仕 7.3.3による (7.3.3) 溶接ずれ及び食い違い ・ 溶接部はH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ・ 溶接ずれ及び食い違いはH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り。 ※ 図示による ()																		
		8 圧接完了後の試験	外観試験 (全数) (5.4.10) 抜取試験 ・ 超音波探傷試験 ・ 引張試験			2 施工管理技術者	適用する (7.1.3~4) ○ 適用しない			16 鉄骨の仮組	仮組を行う範囲 ※ 図示による () (7.3.10) 確認方法、確認項目 ※ 図示による ()																		
3	コンクリート工事	9 帯筋	組立の形の種別 ※ 図示による	5	鋼材	3 鋼材	材質等 (7.2.1) (表7.2.1) 種類の記号 適用箇所 規格 ※ 図示による() ※ JISによる ・ 大臣認定による ・ ※ 図示による() ※ JISによる ・ 大臣認定による ・ 有効細長比(圧縮材に限る) ※ 図示による ()	6	鉄骨工事	17 溶接技能者の技量付加試験	試験の要領及び試験を要する溶接箇所 ※ 図示による () (7.6.3)																		
		10 最上階柱頭補強	補強方法 ・ 図示による			6	高力ボルト			4 高力ボルト	ボルトの区分 (7.2.2) (7.3.2) (7.4.1~9) ※トルシア形高力ボルト セツの種類 ・ 2種(S10T) () ・ JIS形高力ボルト セツの種類 ・ 2種(F10T) () 高力ボルトの径 ・ 図示による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () (7.4.2) すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う 試験方法等 ・ 図示による ()	18 溶接接合	開先の形状 ※ 図示による () (7.6.4) スカップの形状 ※ 図示による () (7.6.7) エンドタブの切除する部分 ・ 全て (7.6.7) ・ 見え掛り部となる部分 ・ 切除する部分なし () 溶接部の余盛り高さ () (7.6.7)																
		11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋(出隅受け部分の補強筋を含む)	配筋方法 ・ 図示による							7	普通ボルト	5 普通ボルト	ボルト及びナットの種類 ・ 標仕 表7.2.3による () (7.2.3) 座金 ・ 標仕 7.2.3(4)による () ボルトの径 ・ 図示による () (7.2.3) (7.3.2) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ()	19 現場溶接の有無	・ 無し 適用箇所 ・ 図示による () ・ 有り														
		12 壁開口部の補強	一般壁 ・ 図示による 耐震壁 ・ 図示による									8	溶融亜鉛めっき高力ボルト	6 溶融亜鉛めっき高力ボルト	セツの種類 ・ 1種(F8T相当) () (7.2.2) (7.12.3~4) 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・ 図示による () (7.3.8) 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた内容による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による () 摩擦面の処理 ・ プラスト処理(表面粗度50 μmRa以上) () ・ ()	20 入熱、バス間温度溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※ 図示による () 適用箇所 ・ 図示による () ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部												
		13 梁貫通孔の補強	補強形式 ・ 図示による 配筋種別 図示による 梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト 図示による											9	アンカーボルト	7 アンカーボルト	適用 (7.2.4) (表7.2.3) (7.10.3) ・ 構造用アンカーボルト セツの種類 C JSS II 13-2004 ABR400 ・ JSS II 13-2004 ABR490 ・ () 形状、寸法 ・ 図示による () ・ 建方用アンカーボルト 材質 ・ SS400 () アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・ 標仕 表7.2.3による () 形状、寸法 ・ 図示による ()	21 溶接部の試験	完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12) (表7.6.2~4) ・ 行わない ※ 行う ・ 工場溶接の場合 ・ 全数検査 ・ 抜取検査 AOQL(%) ・ 4.0 ・ 2.5 検査水準 第6水準 ・ 工事現場溶接の場合 ・ 全数検査 ・ 計数連続生産型抜取検査 AOQL(%) (・4.0 ・2.5)										
		14 基礎梁主筋の継手	種別 ・ 図示による													10	デッキプレート	8 溶接材料	溶接材料 (7.2.5) ※ 標仕 7.2.5(1)(2)による。 ・ 標仕 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料 () 材料及び使用箇所 ・ 図示による ()	22 錆止め塗装	塗料の種類 (7.8.4) (18.3.2) ○ 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 () ・ () 屋内 ○ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 () ・ () 亜鉛めっき鉄面の錆止め塗料 ・ 標仕 18.3.2 表18.3.2()種 () ・ () 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 () ・ () 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行わない ・ 行う 適用箇所 ・ 図示による () 塗料の種類 ・ 標仕 18.3.2 表18.3.1()種 () ・ 標仕 18.3.2 表18.3.2()種 ()								
		15 機械吊上げ用フック	種別 ・ 図示による															11	モルタル	9 ターンバックル	種類 建築用ターンバックル類 ・ 割棒式 () 建築用ターンバックルボルト ・ 羽子板ボルト () ねじの呼び ・ 図示による ()	23 耐火被覆	種別 (7.9.2~7) 種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ 高断熱ロックウール ラス張りモルタル塗 性能 性能 適用箇所(部位・部分) ・ 30分耐火 ・ 1時間耐火 ・ 2時間耐火 ・ 3時間耐火						
		1 1 コンクリートの種類及び強度	普通コンクリートの設計基準強度 (6.2.2) 設計基準強度 (Fc) N/mm ² 種別 ※ 18 ※ 21 ・ 24 ・ 27 普通コンクリート 部位 床・捨てコンクリ 基礎 軽量コンクリート 部位 上記には補正値Sは含まれない 軽量コンクリートの設計基準強度 (6.2.2) 設計基準強度 (N/mm ²) 適用箇所 スラブの値(単位:cm) (6.2.4) (表6.2.2) 打込み箇所 基礎、基礎梁、床 土間コンクリート 柱、梁、壁 所要スラブ 18 15																	12	スタッド	10 デッキプレート	材質、形状及び寸法 (7.2.7) 適用箇所 材質・形状・寸法 備考 ・ 構造床 ・ 合成スラブ ・ 床型枠用 ・ ()	24 アンカーボルトの保持及び埋込み工法	建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4) (7.10.3) (表7.10.1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 構造用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・ 図示による () 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3) (表7.10.2) ※ 標仕 表7.10.2 (※A種[モルタル厚さ50]・B種[モルタル厚さ30])による				
		2 レディーミクストコンクリートの種別	類別 ※ I類 ・ II類 (6.2.1) (表6.2.1)																			13	柱底均しモルタル	11 レール及びその付属品	形状及び寸法等 ・ 図示による ()	25 軽量形鋼構造	接合部(ボルト接合の場合) (7.11.2) ・ 普通ボルト接合 ()		
		3 セメント	種類 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 施工箇所() ・ 高炉セメントB種 () 施工箇所() ・ フライアッシュセメントB種 () 施工箇所() ・ ()																					14	工作図	12 スタッド	材質、形状及び寸法 (7.2.8) ※ 頭付きスタッド JIS B 1198 ()	26 溶融亜鉛めっき(耐力上必要な部分)	種別等 (7.12.4) (表14.2.2) 亜鉛めっきの種別 材料 備考 A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 C種 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 素地ごしちは、JIS H 8641による 適用箇所 ※ 図示による ()
		4 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B (6.3.1)																							15	コンクリート	13 柱底均しモルタル	モルタルの種類 (7.2.9) ※ 無収縮モルタル () 無収縮モルタルの材料、割合等 材料、割合等 ※ 標仕 7.2.9(2)による () 品質及び試験方法 ※ 標仕 表7.2.6による ()
5 軽量コンクリート	種類 ・ 1種 ・ 2種 (6.10.1) (表6.10.1)	16	ひび割れ誘発目地打設目地	14 工作図	監督員による現況検査 ○ 行わない (7.3.2) ・ 行う 増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う。																								
6 無筋コンクリート	適用箇所 (6.14.1) ・ 標仕 6.14.1(4)による箇所 ※ 標仕 6.14.1(4)以外の箇所 ・ 図示による () 設計基準強度 (6.14.1) ※ 18N/mm ² () スラブ ※ 18cm ()																												
7 ひび割れ誘発目地打設目地	目地寸法 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3) ○ 標仕 9.7.3による ・ 図示による 間隔、位置、形状 ・ 図示による ()																												
8 コンクリート仕上り	部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6.2.5) (表6.2.3) ○ 標仕 表6.2.3による () 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.9.3) (表6.2.4) ・ コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による																												
9 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	・ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.1) ○ 20mm () ・ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る) () ・ () ・ 外壁タイル張り、MCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に20mmの打増しを行う																												
10 型枠	せき板の材料 (6.8.2) ○ 合板(国産材) () ・ () せき板の厚さ ○ 12mm () 断熱材の兼用 ・ 行う 適用箇所() ○ 行わない スリーブの材質 ※ 標仕 6.8.2(9)(f)及び表6.8.1による ()																												
11 圧縮強度試験	公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等 建築物名 部位 ※ 躯体 ()																												

設計年: 令和7年6月	建築士事務所名	UDS株式会社	工事名称	南相馬市地域子育て支援拠点施設	
	設計者氏名	一級建築士 第281824号 中原典人 印	図面名称	建築主体工事特記仕様書(3)	図面番号 A-03

8 0 1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※標仕 表11.1.1による ・図示による (11.1.3)(表11.1.1)

2 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.2.2)(11.2.2~8)									
施工箇所	主な用途による区分(IIS)	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考
	床	異外用タイル(F値)	300角	○					
標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄)・壁タイル張りの工法 外装タイル ※密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り									
既製鋼合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による									

3 接着剤による陶磁器質タイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.3.2~8)									
施工箇所	主な用途による区分(IIS)	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考
標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 () 外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材 打雑目地 ※ポリウレタン系シーリング材 () ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 () 伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング材 () その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材 () モルタル塗りをコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄) ()									

4 陶磁器質タイル型枠先付け

タイルの形状、寸法等 建築工事監視指針(11.4.1)									
施工箇所	主な用途による区分(IIS)	形状/寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の適用	耐凍	備考
標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない									
タイル型枠先付けの種類									
種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類							
・タイルシート法	・小口タイル	※標仕 6.8.2(イ)							
・目地削法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル							
・棧木法	・大形タイル								

5 階段滑り止め ※磁器製() ・()

9 木工事

4 造作用単板積層材

「集成材の日本農林規格」以外の化粧張り構造用集成材						
施工箇所	化粧薄板	芯材の樹種	寸法	見付け材面の品質	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率
						※A種・B種

5 床張り用合板等

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 (12.2.1)						
施工箇所	厚さ	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	備考	
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工)	・適用する	※14%以下		
		・無し(等級:)	・適用しない			

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材						
施工箇所	厚さ	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	備考	
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工)	・適用する	※14%以下		
		・無し()	・適用しない			

6 接着剤

普通合板 (12.2.1)						
施工	厚さ	表板の樹種	接合の程	板面の品質	防虫処理	難燃処理
	※5.5	・ラワン	※1類	広葉樹	・適用する	・適用する
		・しな	※2類	※2等以上・1等	・適用しない	・適用しない
			※1類	針葉樹	・適用する	・適用する
			※2類	※C-D以上	・適用しない	・適用しない

7 防蟻・防蟻

構造用合板 (12.2.1)						
施工	厚さ	等級	表板の樹種	接合の程	板面の品質	有効断面
		※12	※2級以上	※1類	※C-D以上	
			※1級	※特類		

8 再生合成木材

デッキ、木欄、門扉には再生合成木材を用いること

10 木造工事

0 5 接合金物等の材質

0 6 製作制度

0 7 表面仕上げ

0 8 アンカーボルト

0 9 柱底均し仕上げ

0 10 普通ボルト

0 11 ボルト孔

0 12 ラグスクリュー

13 ドリフトピン

14 ジベル

0 15 錆止め塗装

0 16 亜鉛めっき

17 防火被覆材

18 防火被覆処理

鋼材の材質 ※SS400 ・SN400A ・() ・()

※精度基準は次による

部位等	精度基準
短辺	製作図寸法の±1.5mm以内
長辺	製作図寸法の±1.5mm以内、かつ、±6mm以内
材長	工作図寸法の±5mm以内
断面直角精度	直角とのひずみ±1/100mm

仕上げの程度 ・ A種 ※ B種

材質 ※SS400 C (SS400 SNR400B、490B、SWRM8~10、SWRCH8)
寸法 ※図示 C (M12mm 360mm)
アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・ A種 ※ B種 ・ C種

柱底均しモルタルの厚さ ※30mm程度 ・()
柱底均しモルタルの工法 ・ A種 ※ B種

普通ボルトの材料等 ※ (県:第2編 表12-2.4.5) による。 ・()
ボルトに用いる座金の寸法及び厚さ
※図示及び(県:第2編 表12-2.4.6) による。
ボルトが受ける応力の種類
※図示による。

ボルト孔の径
※ (県:第2編 表12-2.4.7) 及び(県:第2編 表12-2.4.8) による。
・ 集成材の場合 ()
・ 集成材の場合 ()

ラグスクリューの形状、寸法 ※ 図示 ・ ()

ドリフトピンの形状、寸法等 ※ 図示 ・ ()

ジベルの種類及び材質 種類 () 材質 ()
ジベルの形状、寸法等 ※ 図示 ・ ()

錆止め塗装による防蟻処理を行う構造金物及び接合金物等
※見え掛かりとなるすべての構造金物及び接合金物等 ・ ()
錆止め塗装の種類 ・ A種 ※ B種

亜鉛めっきによる防蟻処理を行う材料等
※すべての構造金物及び接合金物等
・ ()
亜鉛めっきの種類 ※ 2種HDZ55 ・ 2種HDZ45 ・ 2種HDZ35 C 2種HDZ27

防火被覆材 ・ 厚さ25mm以上の木材 ・ 厚さ15mm以上の強化せっこうボード
・ 厚さ12mm以上のけい酸カルシウム板 ・ ()

ボルト、ドリフトピン等の防火被覆処理 ・ 行う ・ 行わない

9 木工事

1 表面仕上げ (12.1.4)

表面仕上げの種類		適用箇所
・ A種		
※ B種	巾木	
・ C種		

2 製材 (12.2.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

「製材の日本農林規格」による下地用製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考
			※2級		※A種・B種	
			※2級			

「製材の日本農林規格」による造作用製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考
			※1等		※A種・B種	
			※1等			

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考
			※1等		※A種・B種	
			※1等			

「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	備考
			()	・適用する	・適用する	※A種・B種	
			()	・適用しない	・適用しない		

・代用樹種を使用できない箇所 ()

3 造作用集成材 (12.2.1)

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級	備考
			※1等	・2等

「集成材の日本農林規格」による化粧張り造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	備考
					※1等	・2等

「集成材の日本農林規格」による化粧張り構造用集成材

施工箇所	化粧薄板	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	備考

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考
				※A種・B種	

「集成材の日本農林規格」以外の化粧張り造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考
						※A種・B種	

10 木造工事

0 1 軸組構法工事

1) 木材

樹種名、種類、等級、寸法等
※ (県:第2編 表12-2.3.6) の規定による
○ (S-01の2.1に示す構造用製材を使用する。
代用樹種を使用しない箇所)

2) 工法

用材の工法
※ (県:第2編 表12-2.3.7) の規定による
()
()

軸組の工法
※ (県:第2編 表12-2.3.8) の規定による
()

構造用面材
※ (県:第2編 表12-2.3.11~表12-2.3.14) の規定による
()
()
()
()
()

2 大断面集成材工事

製作工場
※監督員の承諾する工場

1) 大断面集成材の製作工法
()

2) 施工管理技術者
施工管理技術者の設置 ○ 適用する ○ 適用しない

3) 工作図
床書き原寸図 ・ 作成する ○ 作成しない

4) 大断面集成材

大断面集成材の品質等
強度等級は、次による
構成するひき板の品質等による区分

JASによる強度等級等		
・ E135-F375	・ E120-F330	○ E105-F300
・ E95-F270	・ E85-F255	・ E75-F240
・ E65-F225	()	()
・ E125-F360	・ E110-F315	・ E100-F285
・ E90-F255	・ E30-F240	・ E70-F225
・ E60-F210	()	()

・ 対象異等級集成材

・ 非対象異等級集成材

・ 国土交通大臣が認定したもの

断面の品質 ※ 2種 ・ 3種
接着性能 ○ 使用環境1 ・ 使用環境2
樹種 ・ べいまつ ・ からまつ ・ すぎ ・ () ・ ()

11 屋根及びとい工事

0 1 長尺金属板葺

(13.2.2~3)				
施工箇所	板及びコイルの種類	設置の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ	屋根形式
屋根	※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)	フッ素アルキル樹脂	0.4	・木なし瓦葺 ○立平葺・横葺 ・横葺

下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940
○改質アスファルトルーフィング下葺材
(一般タイプ・復層材タイプ○粘着層付タイプ)
○設置する(図示) ・ 設置しない

2 折板葺 (13.2.2)(13.3.2~3)(表13.2.1)

(13.2.2)(13.3.2~3)(表13.2.1)					
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ
	・重ね形 ・はげ断形 ・かん合形	()種	※鋼板製 ・アルミウム 合金板製		・有り・無し

材料 ※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)
()
断熱材 ・ 有り(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間)
・ 無し

0 3 とい (13.5.2~3)(表13.5.1)

(13.5.2~3)(表13.5.1)				
種別	材種	径	施工箇所	備考
たてどい	○硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管三層管 □G			SUS304、厚2
軒どい	○屋根用材(内蔵)			

ロックウール保温層及びフェノールフォーム保温層のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ()
鋼管製といの防蟻巻き ・ 適用する(工法:※標仕 表13.5.4による) ・ ()
とい受金物 ※ステンレス製 ・ 鋼製(亜鉛めっき) (13.5.2)(表13.5.2)

ルーフトレン

種別		施工箇所
・ろく屋根用(・縦型・横型)		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

12 金属工事	1	あと施工アンカーの確認試験	(14.1.3(1))による確認試験を行う。(14.1.3)																	
	2	鉄鋼の亜鉛めっき	(14.2.3)(表14.2.2) <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table>	表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)	溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		・C種		電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種	
	表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)																	
	溶融亜鉛めっき	・A種																		
		・B種																		
		・C種																		
電気亜鉛めっき	・D種																			
	・E種																			
	・F種																			
3	軽重鉄骨天井下地	野縁等の種類 (14.4.2~4) 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ※900程度 ・() 周辺部の端からの間隔 ※図示による ・() 野縁の間隔 ※300程度 ・() ・補強 ※図示による ・() ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示による ・() ・天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※標仕 14.4.4(8)(7)(4)による ・図示による ・天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示による ・() ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示による ・() 補強方法 ※図示による ・()																		
4	軽重鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 (14.5.3)(表14.5.1) (表14.5.1)によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による ・()																		
5	金属成形板張り	材種 ・アルミニウム ・() 製法 ※押し出し・プレス ・ロール 寸法 板幅 ※100 ・() 板厚 ※1.0 ・() 形状 ・スパンデル形 ・パネル形 表面処理 ・B-1種 ・C-1種 ・() 等 ・B-2種 ・C-2種 ・() 伸縮調整継手 ・設ける ・設けない																		
6	アルミニウム製笠木	部材の種類 ・250形 ・300形 ・350形 ・ ・板折り曲げ形 (本体幅 mm) 板厚(mm) ・() 表面処理 表面処理の種類 ※標仕 表14.2.1による ・() 被膜等の種類 ※標仕 表14.2.1による ・() 着色()																		

13 左官工事	1	仕上塗材仕上げ	○ 覆付け仕上塗材 (15.6.2) <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状等</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>○ 砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>・ゆず肌状(吹付け・ローラー塗)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・凹凸状(吹付け・こて塗)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・</td> <td>・着色骨材砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材C</td> <td>・</td> <td>(吹付け・こて塗)</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材L</td> <td>・</td> <td>・砂壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>・京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>○ 内装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・吸放湿性 ○ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材W</td> <td>・</td> <td>・耐湿性 ・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状等</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材CE</td> <td>・</td> <td>・ゆず肌状・凸部処理 ・ 凹凸模様</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材Si</td> <td>・</td> <td>上塗り材</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材E</td> <td>・</td> <td>耐候性 ※ 耐候形3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材RE</td> <td>・</td> <td>溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>・</td> <td>樹脂 ※ アクリル系</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・</td> <td>外観 ※ つやあり ・ つやなし</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材RE</td> <td>・</td> <td>・メタリック</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>増塗材 ・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状等</th> </tr> <tr> <td>・吹付け用軽塗材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・こて塗用軽塗材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>	呼び名	防火材料	仕上げの形状等	・外装薄塗材Si	・	○ 砂壁状	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状(吹付け・ローラー塗)	・外装薄塗材E	・	・さざ波状	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状(吹付け・こて塗)	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状	・内装薄塗材C	・	(吹付け・こて塗)	・内装薄塗材L	・	・砂壁状じゅらく	・内装薄塗材Si	・	・京壁状じゅらく	○ 内装薄塗材E	・	・吸放湿性 ○ 適用する ・ 適用しない	・内装薄塗材W	・	・耐湿性 ・ 適用する ・ 適用しない	呼び名	防火材料	仕上げの形状等	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状・凸部処理 ・ 凹凸模様	・可とう形複層塗材CE	・		・複層塗材Si	・	上塗り材	・複層塗材E	・	耐候性 ※ 耐候形3種	・複層塗材RE	・	溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系	・防水形複層塗材CE	・	樹脂 ※ アクリル系	・防水形複層塗材E	・	外観 ※ つやあり ・ つやなし	・防水形複層塗材RE	・	・メタリック		・	増塗材 ・ 適用する ・ 適用しない	呼び名	防火材料	仕上げの形状等	・吹付け用軽塗材	・		・こて塗用軽塗材	・	
	呼び名	防火材料	仕上げの形状等																																																																											
	・外装薄塗材Si	・	○ 砂壁状																																																																											
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状(吹付け・ローラー塗)																																																																											
・外装薄塗材E	・	・さざ波状																																																																												
・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状																																																																												
・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状(吹付け・こて塗)																																																																												
・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状																																																																												
・内装薄塗材C	・	(吹付け・こて塗)																																																																												
・内装薄塗材L	・	・砂壁状じゅらく																																																																												
・内装薄塗材Si	・	・京壁状じゅらく																																																																												
○ 内装薄塗材E	・	・吸放湿性 ○ 適用する ・ 適用しない																																																																												
・内装薄塗材W	・	・耐湿性 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																												
呼び名	防火材料	仕上げの形状等																																																																												
・複層塗材CE	・	・ゆず肌状・凸部処理 ・ 凹凸模様																																																																												
・可とう形複層塗材CE	・																																																																													
・複層塗材Si	・	上塗り材																																																																												
・複層塗材E	・	耐候性 ※ 耐候形3種																																																																												
・複層塗材RE	・	溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系																																																																												
・防水形複層塗材CE	・	樹脂 ※ アクリル系																																																																												
・防水形複層塗材E	・	外観 ※ つやあり ・ つやなし																																																																												
・防水形複層塗材RE	・	・メタリック																																																																												
	・	増塗材 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																												
呼び名	防火材料	仕上げの形状等																																																																												
・吹付け用軽塗材	・																																																																													
・こて塗用軽塗材	・																																																																													
2	ALCパネルの場合の下地処理	内壁目地部の形状 ※V形目地付き ・() (15.6.4)																																																																												
3	マスタック塗料塗り	種別 ・A種 ・B種 (仕上材塗り:EP-G ※B種 ・A種) (15.7.2)																																																																												
4	ロックウール吹付け	(15.12.2~4) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色彩</th> <th>吹付け厚さ</th> </tr> <tr> <td>・一般用()</td> <td>・着色 ・ 原色</td> <td>・10 ・ 15 ・ 20 ・ 25</td> </tr> </table>	種類	色彩	吹付け厚さ	・一般用()	・着色 ・ 原色	・10 ・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																						
種類	色彩	吹付け厚さ																																																																												
・一般用()	・着色 ・ 原色	・10 ・ 15 ・ 20 ・ 25																																																																												

14 建具工事	1	アルミニウム製建具	(16.2.2)(16.2.4)(16.2.5)(表16.2.1) 性能等級 <table border="1"> <tr> <th>外部に面する建具</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> <th>D種</th> <th>E種</th> </tr> <tr> <td>防音ドアセット、防音サッシ</td> <td>・適用する</td> <td>遮音性の等級()</td> <td>○ 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱ドアセット、断熱サッシ</td> <td>・適用する</td> <td>断熱性の等級(H-4)</td> <td>○ 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震ドアセット</td> <td>・適用する</td> <td>面内変形追随性の等級()</td> <td>○ 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 枠の見込み寸法 ○ 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ○ BA-1種 ・ BA-2種 ○ BB-1種 ○ BB-2種 ・ () 皮膚等の種類(※標仕表14.2.1による) ・ () 着色() 屋内の建具 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ () 皮膚等の種類(※標仕表14.2.1による) ・ () 着色() 結露水の処理方法 ※ 図示による ・ () 水切り板、ぜん板 ※ 図示による ・ ()	外部に面する建具	A種	B種	C種	D種	E種	防音ドアセット、防音サッシ	・適用する	遮音性の等級()	○ 適用しない			断熱ドアセット、断熱サッシ	・適用する	断熱性の等級(H-4)	○ 適用しない			耐震ドアセット	・適用する	面内変形追随性の等級()	○ 適用しない		
	外部に面する建具	A種	B種	C種	D種	E種																					
	防音ドアセット、防音サッシ	・適用する	遮音性の等級()	○ 適用しない																							
	断熱ドアセット、断熱サッシ	・適用する	断熱性の等級(H-4)	○ 適用しない																							
	耐震ドアセット	・適用する	面内変形追随性の等級()	○ 適用しない																							
2	網戸等	(16.2.3) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○ 防虫網</td> <td>※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製</td> <td>※ 0.25mm以上 ・ ()</td> <td>※ 16~18メッシュ ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種類	材種	線径	網目	○ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製	※ 0.25mm以上 ・ ()	※ 16~18メッシュ ・ ()	・ 防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm													
種類	材種	線径	網目																								
○ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製	※ 0.25mm以上 ・ ()	※ 16~18メッシュ ・ ()																								
・ 防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																								
3	樹脂製建具	(16.3.2) 性能等級 外部に面する建具 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級(・T-1・T-2) ・ 適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級(○H-4 ・ H-5 ・ H-6) ・ 適用しない 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級() ・ 適用しない																									
4	鋼製建具	(16.2.2)(16.4.2~4)(表16.4.2) 性能等級 簡易気密型 ○ 適用する ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ○ S-5 防音ドアセット、防音サッシ ・ S-6 ・ 適用する 遮音性の等級() ○ 適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級(H-4) ○ 適用しない 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級() ○ 適用しない																									
5	鋼製軽塗建具	(16.2.2)(16.5.2~4) 性能等級 簡易気密型 ・ 適用する ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 防音ドアセット、防音サッシ ・ S-6 ・ 適用する 遮音性の等級() ○ 適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級(H-4) ○ 適用しない 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級() ・ 適用しない																									

6	ステンレス製建具	(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~4) 性能等級 簡易気密型 ○ 適用する ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ○ S-5 防音ドアセット、防音サッシ ・ S-6 ・ 適用する 遮音性の等級() ○ 適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級(H-4) ○ 適用しない 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級() ○ 適用しない 鋼板(屋外) ※ SUS430JIL, SUS443J1, SUS304 ・ () 鋼板(屋内) ※ SUS430, SUS430JIL, SUS443J1, SUS304 ・ () 表面仕上げ ※ HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 (16.6.5) ○ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (補強あり) 建具材の加工、組立時の含水率 ※ B種 ・ () (16.7.2~4)															
7	木製建具	○ フラッシュ戸 表面材の合板の種類 <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 普通合板</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ワラン程度) ・ () 不透明塗料塗り (※しな程度) ・ () 板面の品質 接着の程度 (○ 1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 天然木</td> <td>樹種名() 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 化粧加工</td> <td>化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 化粧合板</td> <td>表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> </table> 表面材の厚さ ※ 標仕 表16.7.6による ・ ()	合板の種類	規格等	備考	※ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ワラン程度) ・ () 不透明塗料塗り (※しな程度) ・ () 板面の品質 接着の程度 (○ 1類 ・ 2類)		・ 天然木	樹種名() 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)		・ 化粧加工	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装)		・ 化粧合板	表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)	
合板の種類	規格等	備考															
※ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ワラン程度) ・ () 不透明塗料塗り (※しな程度) ・ () 板面の品質 接着の程度 (○ 1類 ・ 2類)																
・ 天然木	樹種名() 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)																
・ 化粧加工	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装)																
・ 化粧合板	表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)																

14 建具工事	8	建具用金物	(16.4.6) 標準型建具 ・ マスターキー ※ 製作する (※新規・既存にあわせる) ○ 製作しない ※ シリンダー軸錠 ※ レバーハンドル ※ ドアクローザー 標準型建具以外の建具 (16.8.2)(表16.8.1) ・ マスターキー ※ 製作する (※新規・既存にあわせる) ○ 製作しない ※ シリンダー軸錠 ※ レバーハンドル ・ 振り玉 ・ 本締り錠 ○ 空錠 ※ レバーハンドル ・ 振り玉 ・ グレモン錠 ・ ・ 点検口錠(平面ハンドル錠) ・ 非常錠 ・ () ・ ピボットヒンジ ・ フロアヒンジ ・ ヒンジクローザー(丁番形) ・ ヒンジクローザー(ピボット形) ○ ドアクローザー ○ 閉鎖順位調整器 ・ 押棒、押板 ・ アームストッパー ○ クレセント ○ 押扉オペレーター ○ レール																																																				
	9	鍵箱	形式 (16.8.4) ○ 30本 () 個 ・ 120本 () 個 ・ 60本 () 個 ・ () 本 () 個 鋼製既製品とし、監督員の承諾による。																																																				
	10	自動ドア開閉機構	(16.9.2~3) <table border="1"> <tr> <th>自動ドア</th> <th>性能</th> <th>防錆</th> <th>センサーの種類</th> <th>凍結防止</th> </tr> <tr> <td>○ SSLD-1</td> <td>※ 標仕</td> <td>○ 適用する</td> <td>・ マットスイッチ</td> <td rowspan="4">・ 行う(適用箇所は建具表による) ○ 行わない</td> </tr> <tr> <td>○ SSLD-2</td> <td>表16.9.1による</td> <td>・ 適用しない</td> <td>・ 光線(反射)スイッチ</td> </tr> <tr> <td>○ DSLD-1</td> <td>による</td> <td></td> <td>・ 熱線スイッチ</td> </tr> <tr> <td>・ DSLD-2</td> <td>による</td> <td></td> <td>・ 音波スイッチ</td> </tr> <tr> <td>・ 図示による</td> <td>による</td> <td></td> <td>・ 光電スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 電波スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ タッチスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 押しボタンスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ ペダルスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 多機能トレススイッチ</td> <td></td> </tr> </table> 駆動力 ※ 電気式または油圧式 ・ () 補助センサー ※ 光電スイッチ1組 ・ () 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。	自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止	○ SSLD-1	※ 標仕	○ 適用する	・ マットスイッチ	・ 行う(適用箇所は建具表による) ○ 行わない	○ SSLD-2	表16.9.1による	・ 適用しない	・ 光線(反射)スイッチ	○ DSLD-1	による		・ 熱線スイッチ	・ DSLD-2	による		・ 音波スイッチ	・ 図示による	による		・ 光電スイッチ					・ 電波スイッチ					・ タッチスイッチ					・ 押しボタンスイッチ					・ ペダルスイッチ					・ 多機能トレススイッチ	
	自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止																																																		
○ SSLD-1	※ 標仕	○ 適用する	・ マットスイッチ	・ 行う(適用箇所は建具表による) ○ 行わない																																																			
○ SSLD-2	表16.9.1による	・ 適用しない	・ 光線(反射)スイッチ																																																				
○ DSLD-1	による		・ 熱線スイッチ																																																				
・ DSLD-2	による		・ 音波スイッチ																																																				
・ 図示による	による		・ 光電スイッチ																																																				
			・ 電波スイッチ																																																				
			・ タッチスイッチ																																																				
			・ 押しボタンスイッチ																																																				
			・ ペダルスイッチ																																																				
			・ 多機能トレススイッチ																																																				
11	自閉式上吊り戸装置	性能 ※ 標仕 表16.10.1による (16.10.2~3)(表16.10.1)																																																					
12	軽重シャッター	(16.11.2~4)(表16.11.1) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>シャッターケース</th> <th>耐風圧強(開閉形式)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 一般軽重シャッター</td> <td>・ 設ける</td> <td>・ 50 ※ 上部電動式(手動併用)</td> <td rowspan="2">※ 障害物感知装置(自動閉鎖型) ・ シャッターの二段降下方式</td> </tr> <tr> <td>・ 外壁用防火シャッター</td> <td>・ 設けない</td> <td>・ 80</td> </tr> <tr> <td>・ 屋内用防火シャッター</td> <td>・ 設ける</td> <td>・ 120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 屋内用防煙シャッター</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ () 電動式の場合の電圧 ※ 三相200V0.75kw以下(過電流保護装置付) ・ () 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。	種類	シャッターケース	耐風圧強(開閉形式)	備考	・ 一般軽重シャッター	・ 設ける	・ 50 ※ 上部電動式(手動併用)	※ 障害物感知装置(自動閉鎖型) ・ シャッターの二段降下方式	・ 外壁用防火シャッター	・ 設けない	・ 80	・ 屋内用防火シャッター	・ 設ける	・ 120		・ 屋内用防煙シャッター	・																																				
種類	シャッターケース	耐風圧強(開閉形式)	備考																																																				
・ 一般軽重シャッター	・ 設ける	・ 50 ※ 上部電動式(手動併用)	※ 障害物感知装置(自動閉鎖型) ・ シャッターの二段降下方式																																																				
・ 外壁用防火シャッター	・ 設けない	・ 80																																																					
・ 屋内用防火シャッター	・ 設ける	・ 120																																																					
・ 屋内用防煙シャッター	・																																																						

13	軽重シャッター	(16.12.2~4) <table border="1"> <tr> <th>開閉形式</th> <th>シャッターケース</th> <th>耐風圧強度(N/㎡)</th> </tr> <tr> <td>※ 手動式</td> <td>※ 設ける</td> <td>・ 50</td> </tr> <tr> <td>・ 上部電動式(手動併用)</td> <td>・ 設けない</td> <td>・ 65</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 80</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>スラットの材質</th> <th>めっき量</th> </tr> <tr> <td>・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)</td> <td>※ Z06又はF06</td> </tr> <tr> <td>・ JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)</td> <td>※ AZ90</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>スラットの形状</th> <th>ガイドレール・座金の材質</th> </tr> <tr> <td>※ インターロック型</td> <td>※ ステンレス(SUS304)</td> </tr> <tr> <td>・ オーバーラッピング型</td> <td>・ 溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> </table> 電源 ※ 単相 100V (過電流保護装置付) ・ () 工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。 ※ 障害物感知装置(自動閉鎖型)	開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度(N/㎡)	※ 手動式	※ 設ける	・ 50	・ 上部電動式(手動併用)	・ 設けない	・ 65			・ 80			・	スラットの材質	めっき量	・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)	※ Z06又はF06	・ JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)	※ AZ90	スラットの形状	ガイドレール・座金の材質	※ インターロック型	※ ステンレス(SUS304)	・ オーバーラッピング型	・ 溶融亜鉛めっき鋼板
開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度(N/㎡)																											
※ 手動式	※ 設ける	・ 50																											
・ 上部電動式(手動併用)	・ 設けない	・ 65																											
		・ 80																											
		・																											
スラットの材質	めっき量																												
・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)	※ Z06又はF06																												
・ JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)	※ AZ90																												
スラットの形状	ガイドレール・座金の材質																												
※ インターロック型	※ ステンレス(SUS304)																												
・ オーバーラッピング型	・ 溶融亜鉛めっき鋼板																												

14 オーバーヘッド ドア

セクション材料による区分	耐風圧(N/㎡)	開閉方式による区分	収納形式による区分	(16.13.2~3) ガイドレールの材質
※ スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※ ステンレス鋼板(SUS304) ・溶融亜鉛めっき鋼板

15 ガラス

・合わせガラス (16.14.2)

品名	構成種類	性能
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス	・I類
・網入磨き合わせガラス	・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・II-1類
・網入磨き、フロート板合わせガラス	・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・II-2類 ・III類

注) 曲面合わせガラスの性能はI類

○強化ガラス

材料板ガラスの種類	種類	性能
○フロートガラス	○フロート強化ガラス	○I類
・型板ガラス	・熱線吸収強化ガラス	・III類
	・型板強化ガラス	

注) 曲面強化ガラスの性能はI類

・熱線吸収板ガラス

品名	性能	色調
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・()
・熱線吸収網入磨き板ガラス	・2種	

○複層ガラス

品名	断熱性	日射熱減へい性
○断熱複層ガラス	・1種 ・C2種 ・3種	U1 U2 U-3-1
・日射熱減へい複層ガラス	・4種 ・5種	E4 E5 U-3-2

・熱線反射ガラス (16.14.2) (16.14.4)

品名	色調	断熱性	耐久性	反射皮膚	映像調整
・熱線反射ガラス	・()	※ 1種	A種	・内面	・行う
・高性能熱線反射ガラス		・2種	・A種 ・B種	・外面	・行わない
		・3種	B種		

・倍強度ガラス

材料板ガラスの種類	色調
・フロート倍強度ガラス	—
・熱線吸収倍強度ガラス	・()

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.3) (16.14.1)

留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※ 標仕 表16.14.1による ・図示による
鋼製及び鋼製軽量ステンレス製	※ シーリング材 ・()	

ガラスブロック積み (16.14.5)

JIS A 5212によるもの又は評価名簿によるもの	表面形状	寸法	厚さ	色調	防火認定	備考
					・なし ・防火設備	

○16 ガラス用フィルム

・(「M スコッチティント」ウインドウフィルム 透明飛散防止シリーズ組)

15 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

2 メタルカーテンウォール

カーテンウォールの材料 (17.2.2)

材料	規格	映像調整
※ アルミニウム製	※ 標仕 16.2.3による ・()	・行う ・行わない
・ステンレス		

製品及び取付位置の寸法許容差 ※ 標仕 表17.2.1~3による

ガラス溝の寸法、形状 ※ 製造所の仕様による

3 PCカーテンウォール (17.3.2~5)

カーテンウォールの材料

コンクリート ※ 標仕 17.3.2(1) (7) (イ)による

鉄筋 ※ 295A (・D13 ・D10)

補強鉄線の径(mm) ※ 3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0

配筋 ※ 図示による

先付けの材料 ※ センシ特 ・ゴンドラ用ガイドレール

表面仕上げ剤 ※ 磁器質タイル

ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)

・h=1~+2, W1及びW2=±1

製品及び取付位置の寸法許容差 ※ 標仕 表17.3.1~2による

16 内装工事

○1 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。

次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)

(18.2.2~7)

下地面等	塗料の種類
木部	※ 不透明塗料塗りの場合 ※ 透明塗りの場合
鉄鋼面	※ A種・B種 ※ C種・A種・B種
亜鉛めっき鋼面(注)	○ A種・B種・C種
モルタル面及び石膏面	※ B種・A種
コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	※ B種・A種
せつこうボード面及びその他ボード面	※ A種・B種
	※ 目地: 継目処理工法 ※ 目地: 継目処理工法以外

注) 亜鉛めっき鋼面の塗料の種類

種類	施工部位及び塗料種類
A種	鋼製の建具の場合又は2液形ポリウレタンエナメル塗料若しくは常温乾燥形かつ素樹脂エナメル塗料の場合
B種	A種、C種以外
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

○2 床地ごしらえ

(18.2.2~3)

下地面等	工種の種類	塗料の種類
鉄鋼面	見え隠れ部分	※ A種・B種
	見え隠れ部分以外	※ B種・A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※ A種・B種・C種
	鋼製建具以外	※ C種・A種・B種

○3 錆止め塗料塗り

○4 塗装 (18.4.1~18.13.2)

塗装	塗料の種類
○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外 ※ A種・B種 木部屋内 ※ B種・A種 鉄鋼面 ※ B種・A種 亜鉛めっき鋼面 ※ 1種・2種
○クリヤーカラー塗り(CL)	※ B種・A種
○アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)	※ B種・A種
○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 コンクリート面及び押出成形セメント板面 コンクリート面等
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント	※ B種・A種
○塗り(EP-G)	※ B種・A種
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	※ B種・A種
・合成樹脂エマルジョン模倣塗料塗り(EP-T)	※ B種・A種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	※ B種・A種
・ラッカーエナメル塗り(LE)	※ B種・A種
○オイルステイン塗り(OS)	—
○木材保護塗料塗り(WP)	※ B種・A種

17 内装工事

○1 接着剤 (19.2.2)

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。

(19.2.2~3)

種類	JIS記号	色柄	特殊機能	厚さ	工法
・発泡層のないもの	※ FS (複層ビニル床シート)	・無地 ・マール柄	・帯電防止 ・耐動重性	※ 2.0	※ 熱溶接 ・突付け
・発泡層のあるもの		・無地 ・柄物	・防汚性 ・耐薬品性		

○2 ビニル床シート

○3 ビニル床タイル (19.2.2~3)

JIS記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ
○FT (複層ビニル床タイル)	○無地 ・柄物	※ 300角 ・450角	・帯電防止 ・防汚性	※ 2.0 ・2.5 ・3.0
・KT (ノンポジションビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300角 ・450角	・帯電防止 ・防汚性	・2.0 ・3.0
・FOA (重敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300角 ・450角	・帯電防止 ・防汚性	・()

○4 ビニル幅木 (19.2.2)

材種	厚さ	高さ
※軟質 ・硬質 ・溶接	※ 2.0	※60 ・75 ・100

○5 ゴム床タイル (19.2.2)

色柄	厚さ	寸法(mm)
・()	・3.0 ・4.5 ・6.0	・()

○6 カーペット敷き (19.3.2~3)

タイルカーペット	寸法	総厚さ(mm)	色柄	帯電性
○500角	・6.5	・()	※無地 ・柄物	※ 3kV以下 ・その他

タイルカーペットの敷き方

見切り、押え金物

・適用する (材質、形状等 ※図示)

・適用しない

(19.4.2~3) (表19.4.1~8)

種別	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材	・弾性ウレタン樹脂系塗床	※ 平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材	・エポキシ樹脂系塗床	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ
・薄膜型塗床材	・薄膜流し戻し工法 ・厚膜流し戻し工法 ・樹脂モルタル工法	

17 内装工事

○8 フローリング張り (19.5.2)

種類	工法	樹種	厚さ	大きさ	仕上げ
・フローリングボード	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り) ・接着工法	※ 杉 ※ なら ・	・15 ・12以上	板幅 ・150 ・# 板長さ500以上	・仕上げ ・無仕上げ
・フローリングブロック	・接着工法 ・モルタル埋込工法			※ 303角 ・()	
・モザイクパーケット	接着工法			・()	

間伐材の適用 ・適用する ○適用しない

○天然木化粧複合フローリング

工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ
・釘留め工法(根太張り) ○釘留め工法(直張り) ・接着工法	○なら ・	板厚 ・8以上 板幅 ・75以上 板長さ ・900以上	○A種 ・B種 ・C種	○適用する ○適用しない	○塗装品 ・無塗装品

接着剤工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート

現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所) ○行わない

※ ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

○9 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)

種別 ・A種・B種・C種 (D種(畳床: OKT-1))

下地の種類 ○標仕 表12.6.1による床組

・ポリスチレンフォーム床下地(ハンフロン)

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

(19.7.2~3) (表19.7.1)

種類	JIS記号	厚さ、規格等
・硬質毛セルボード	HW	・15・20・25 ・()
・中質毛セルボード	MW	・15・20・25 ・()
○普通毛セルボード	NW	・15・20・25 ○12
・硬質木片セルボード	HF	・12・15 ・18 ・21
・普通木片セルボード	NF	・30
○けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石綿) ※6 ・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	○フラットタイプ (・9(不燃) ・12) ○凹凸タイプ (・15 ・19)
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・12・15・25 ・()
・グラスウール吸音ボード2号2K	GW-B	※ 25(グラスクロス包) ・()
○せつこうボード	GB-R	○12.5(不燃) ・15(不燃)
○不燃複層せつこうボード	GB-NC	○9.5(不燃)化粧無(下張り用) 化粧有(トラバーチン模倣)
○シーリングせつこうボード	GB-S	○12.5(不燃)
○強化せつこうボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15(不燃)
○せつこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せつこうボード(木目)	GB-D	12.5(不燃)幅440mm程度 模倣(・板目・板目) 専用下地材有り
・化粧せつこうボード(トラバーチン模倣)	GB-D	9.5(準不燃)

○普通合板

表面の材種

生地、透明塗料塗り (※フアン程度)

不透明塗料塗り (※しな程度)

板面の品質()

厚さ(mm) ()

接着の程度()

・防虫処理 ・難燃処理
・防湿処理

・天然木化粧合板

樹種名 ()

接着の程度 (・1種・2種)

厚さ(mm) ()

・防虫処理 ・難燃処理 ・防湿処理

・特殊加工化粧合板

化粧加工の方法

・オーバーレイ ・プリント

・塗装

表面性能 ()タイプ

接着の程(・1種 ・2種)

厚さ(mm) ()

・防虫処理 ・難燃処理 ・防湿処理

JIS K 6903による (※1.2・())

・メラミン樹脂化粧板

・ポリエステル樹脂化粧板

・ミディアムデンシティファイバーボード

MDF

・3・7・9・12

・単板張り

・無研磨板 ・研磨板

・10・12・15

・18

・単板オーバーレイ

・塗装

・プラスチックオーバーレイ

・10(難燃) ・12(難燃)

・ハードボード(素地)

HB

・研磨板 (・スタンダード ・テンパード)

・ハードボード(化粧)

・内装用 ・外装用

・2.5・3.5

・5

・7

・インシュレーションボード

IB

A級(・天井仕上

・9・12・15

・18

せつこうボード等の下地は図示による

遮音シール材 ・適用する ○適用しない

(・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)

合板類の張付け ※B種

せつこうボードの目地工法

・A種

・仕上表による

○図示による

17 ○ 11 壁紙張り (19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名(程度)
居室	ビニルクロス	・ 不燃 ○準不燃	サングツ(AAグレード)
非居室	ビニルクロス	・ 不燃 ○準不燃	サングツ(AAグレード)

商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

素地ごしらの種別 (19.8.3)

モルタル及びプラスター面	・ A種 ※ B種
せっこうボード面	・ A種 ※ B種
コンクリート及びALC面	・ A種 ※ B種

○ 12 断熱材 (19.9.2)

種類	厚さ(mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	※ 2種b ※ 25
○ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキナシ)	○ 3種b(敷地部分) ○ 30
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・ フェノール保温材(3種2号を除く)	

・ 断熱材現場発泡工法 (19.9.3)

種類	厚さ(mm)	施工箇所
※ A種1	・ 25	※ 図示による
・ B種1	・ 30	

18 ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)

構造	・ パネル構造 ・ 溝構造
寸法(mm)	※ 450角以上600角以下
高さ(mm)	※ 100 ・ 110 (床版から仕上材天端までの寸法)
耐震性能	・ 1.0G ・ 0.6G
所定荷重(N)	※ 3000 ・ 5000
表面仕上げ材	※ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル
床パネルの材質	※ アルミ合金ダイカスト製、スチール製又は複合材等
構造材の材質	・ アルミニウム製 ・ 鋼製(仕上げ)
配線用取り出しパネル	フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
配線取り出し開口	・ 20~30%
空調用吹き出し(吸い込み)パネル	・ パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上
ローリングロード性能	・ なし
	・ あり(形式、施工箇所:図示による)
	・ 適用しない ・ 適用する(適用室:)

2 可動間仕切

構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	遮音性(db)
・ スタッド式(内蔵)	・ アルミ	※ 30以上	・ 0
・ スタッド式(露出)	・ スチール	・ ()	・ 12
・ パネル式	・ 木質系	※ 60以上	・ 20
・ スタッドパネル式	・ スチール系	・ ()	・ 28
	・ ガラス系		・ 36
	・ アルミニウム合金系		

3 移動間仕切

表面仕上げ材	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ
・ 鋼板	・ 0.6	・ メラミン樹脂焼付
・ ()	・ 0.8	又はアクリル樹脂焼付
		・ 壁紙張り

パネル内に取り付ける建具

- ・ あり(※図示による)
- ・ なし

(20.2.4)

操作方法	圧縮装置	総厚さ(mm)	遮音性 (db/500Hz)
・ 手動式	・ プッシュ式	・ 60程度	・ 36未満
・ 電動式	・ ハンドル式	・ 100程度	・ 36以上
・ 部分電動式			

4 トイレブース (20.2.5)

表面材の種類	脚部形状	形状	材質
※ メラミン樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	・ 標準	○ アルミニウム製
・ ポリエステル樹脂系化粧板		○ R	・ ステンレス製
			・ 表面材と同等

5 視覚障害者用床タイル

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
・ 塩化ビニル製	○ 300角	○ 7.0
・ 磁器質タイル		
・ レンジコンクリート製		
○ 磁器質タイル		
・ レンジコンクリート製		

ブロックパターンはJIS T 9251による

6 階段滑り止め (20.2.6)

材質	幅(mm)	取付工法
ステンレス製(SUS304)	※ 35	※ 接着工法
ビニルタイプ入り	・ ()	・ ()

7 床目地棒 (20.2.7)

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。

- ※ ステンレス製 □型 (幅40程度 ア1.5)
- ステンレス製 6×12 ・ 黄銅製 6×12

8 手すり

材質	表面仕上げ	直径(mm)	備考
・ タモ	・ クリアラッカー	○ 35	・ 1段手すり
○ ステンレスパイプ	○ HL	・ 45	・ 2段手すり
・ 鋼製パイプ	・ EP-G ・ SOP	・ ()	
・ ビニル製ハンドレール			(指づめ防止材共)

9 ホワイトボード (20.2.8)

種類	取付方法	形状	備考
ほうろう白板	直付け	※ 平面	マーキングペン受け付き
		・ 曲面	

10 煙突ライニング (20.2.11)

・ 煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 ※ 400℃ ・ 650℃

・ ()

・ キャスタブル耐火材 工法 ・ こて押え ・ ()

11 ブラインド (20.2.12)

形式	横型ブラインド	縦型ブラインド
閉閉方式	※ ギヤ式 ○コード式	※ 操作棒式 ※ 2本操作コード方式
スラットの幅	※ 25 ・ 35	・ 80 ○ 100

12 ロールスクリーン (20.2.13)

材質	操作方式	備考
※ ポリエステル	※ チェーン式	
・ 綿	・ プルコード式	
・ ガラス繊維	・ 電動式	

18 ユニット及びその他工事

13 カーテン (20.2.14)(表20.2.1)

形式	開閉操作	ひだの種類	きり地の種別
○ シングル	※ 手引き	・ フランスひだ	品質、特殊加工
・ ダブル	・ 引分け	・ ひも引き	
	・ 電動	○ プレアンひだ、片ひだ	

14 カーテンレール (20.2.14)

材質 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成形材(アルマイト仕上げ)

形状 ※ 角型

15 カーテンボックス

材質 ・ アルミニウム製既製品 (・ シルバー ・ 着色)

・ 鋼製

○ 木製

16 コーナービート (20.2.14)

材質 ※ アルミニウム押出成形材差込型

※ シルバー ・ 焼付 ・ ()

・ コーナー保護金物付きジョイントテープ

17 天井見切縁

材質 ・ アルミニウム押出成形材

※ 塩化ビニル製

施工箇所 ※ 仕上表による ・ ()

18 点検口

形式	材質	寸法	形式	備考
天井	○ アルミニウム製	○ 450角	○ 一般形	・ 焼付き
	・ ()	・ 600角		
床	・ アルミニウム製目地	・ 450角		
	・ ステンレス鋼製目地	・ 600角		

19 収納・収納家具

合板類

ホルムアルデヒド放出量 ※ F☆☆☆☆

ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びパーティクルボード

20 消火器ボックス

※ 既製品(埋込タイプ)

材質	寸法	扉	表示
※ 鋼製	※ W300×H900程度	※ 有り	※ 絵・文字表示
・ 焼付塗装			

21 ステンレス流し台

※ 既製品 ・ 優良住宅部品(セクショナルキッチン)

上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付

22 コンロ台

※ 既製品 ・ 優良住宅部品(セクショナルキッチン)

テーブルトップはステンレス製、バックガード (※ 有り ・ 無し)

23 吊戸棚

※ 既製品 ・ 優良住宅部品(セクショナルキッチン)

24 水切棚

※ 既製品ステンレス製一般型 ・ ()

25 くつふきマット

材質 ・ ステンレス製/ノンスリップ型 (鉄金物 : ステンレス製)

・ 硬質アルミニウム製 (鉄金物 : 硬質アルミニウム製)

・ 塩化ビニル製またはゴム製 (鉄金物 : ステンレス製)

26 旗竿

材質	形状	操作方法	固定方法	備考
※ アルミニウム合金製	・ テーパー式	・ ロープ式	・ 埋込式	
	・ 同一断面式	・ ハンドル式	・ ベース式	
			・ バンド式	

27 旗竿受金物

材質 ※ ステンレス製(SUS304)

28 フェンス

フェンスの種類

- ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス
- ・ 樹脂塗装メッシュフェンス
- ・ 鋼管フェンス
- アルミフェンス

29 敷地境界標

- ・ 花こう岩(文字記号入り)
- コンクリートブロック製の市販品程度
- ・ 金属製(真ちゅう製50角 アンカー共)

30 止水板

形状 ・ 差し式 ・ 据置式 ・ 壁張り式

19 排水工事

○ 1 排水管

材質 ・ 遠心力鉄筋コンクリート管 (21.2.1)(表21.2.1)

○ 硬質塩化ビニル管 (※ VP ○ VU ・ RS-VU)

・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管

○ 2 鉄製ふた (21.2.1)

種類	適用荷重	備考
・ 水封形	○ T-2用	○ 有り
○ 簡易密閉形(パッキン形)	・ T-6用	・ 無し
・ 密閉形(テーパーパッキン形)	・ T-20用	
・ 中ふた付き密閉形(テーパーパッキン形)		
・ RS-VU		

上記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による。

※ 表面には用途別の標準文字付きとする。

○ 3 グレーチング (21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	面鉛めつき(付着量)	上面形状
・ 鋼製	○ 受棒付き、ボルト固定	○ 溝ふた(横断用)	・ 歩行用	・ 細め	・ ()	・ 凹凸形
○ ステンレス製		・ 溝ふた(側溝用)	・ T-2用	○ 普通目		○ 平形
		・ 橋ふた	○ T-6用			
		・ U字溝用	○ T-14用			
			・ T-20用			

○ 4 埋戻し土

※ B種 ・ ()

20 舗装工事

○ 1 路床 (22.2.2~3)

種別	材料
○ 盛土	・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土
・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュチャラン ・ クラッシュチャラン
	・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量10%以下)
・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量10%以下)

試験

- 砂の粒度試験 ○行方 ・ 行わない (22.2.5)
- 路床度の支持力比(CBR)試験 ○行方 ・ 行わない
- 路床締固め度の試験 ○行方 ・ 行わない

○ 2 路盤 (22.3.3)

路盤の材料

- ・ 砕石 C-40
- ※ 再生クラッシュチャラン RC-40
- ・ クラッシュチャラン鉄鋼スラグ CS-40

試験 路床締固め度の試験 ○行方 ・ 行わない (22.3.5)

20 舗装工事

○ 3 アスファルト舗装 (22.4.4)

加熱アスファルト混合物の種類

一般地域	密粒度アスファルト混合物 (13)	寒冷地	密粒度アスファルト混合物 (13F)
○ 密粒度アスファルト混合物 (13)	・ 寒冷地	・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)	・ 細粒度キヤップアスファルト混合物 (13F)

シールコートの施工 ○行方 ・ 行わない (22.4.5)

試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行方 ○行わない (22.4.6)

○ 4 コンクリート舗装 (22.5.3)

早強セメント ※ 使用しない ・ 使用する

溶接金網 ※ 使用しない ・ 使用する

試験 コンクリート版の厚さの試験 ・ 行方 ○行わない (22.5.6)

5 ブロック系舗装 (22.8.2~3)

・ コンクリート平板舗装

・ インターロッキングブロック舗装

6 車止め

車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き

全面接着アンカー併用固定(網り込み30mm埋め込み65mm以上)

7 区画線等

トラフィックペイント JIS規格品

※ 溶融型(ア1.5) ・ 加熱型(ア1.0程度)

区画線幅 ※ 150 ・ ()

○ 身障者専用駐車スペース表示(1300角)

・ 駐車スペースナンバー表示(350角)

21 植栽及び屋上緑化工事

○ 1 植栽地の確認等 (23.1.3)

土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ○行方 ・ 行わない

水溶性塩類(EC)の試験 ○行方 ・ 行わない

○ 2 植栽基盤の整備 (23.2.2)

土壌改良材 ○適用する ・ 適用しない

○ 3 植込み用土 (23.2.3)

※ 建設発生土の良質土 ・ 客土

○ 4 土壌改良材 (23.2.3)

○ 適用する(施工範囲 ※図示による)

5 芝 (23.4.2)

種類 ※ コウライ芝 ・ ノシバ

6 樹木札

高木全数の1/2 耐候性樹脂製 137×102 設置樹木については協議による。

7 枯損樹木などの植替え

※ 引渡し日から1年

・ ()

8 その他

22 ○ 1 揮発性有機化合物の室内濃度の測定
1)対象揮発性有機化合物(VOC)
2)測定室
3)測定方法

下記の室内揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。

○ホルムアルデヒド アセトアルデヒド
トルエン キシレン パラジクロロベンゼン スチレン エチルベンゼン
・()

○()
○()

※簡易測定法による。

VOCの種類	測定方法
※ホルムアルデヒド	・検知紙法 ○検知管法 ・定電位電解法 ・吸光度法 ・ハット型採取
※トルエン※キシレン※スチレン※エチルベンゼン	・ハット型採取

※厚生労働省の標準的測定方法による。

VOCの種類	採取方法	測定方法
・ホルムアルデヒド	・DNPH誘導体化固相吸着/溶媒抽出	・高速液体クロマトグラフィー
・アセトアルデヒド	・固相吸着/溶媒抽出法	・()
・トルエン	・固相吸着/溶媒抽出法	・()
・キシレン	・固相吸着/加熱脱着法	・()
・パラジクロロベンゼン	・容器採取法	・()
・スチレン		
・エチルベンゼン		

○ 2 果産材・地域材の活用
1)木工事
2)木造工事
3)石工事
4)その他()工事

果産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)
使用部位(柱・梁・母屋) 樹種(集成材)
地域材を使用する部位及び樹種については下記による。
使用部位(柱・梁・母屋) 樹種(集成材)

果産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)
使用部位() 樹種()
地域材を使用する部位及び樹種については下記による。
使用部位() 樹種()

果産材を使用部位及び石材については下記による。(代用石材は使用できない)
使用部位() 石材()
地域材を使用する部位及び石材については下記による。
使用部位() 石材()

果産材を使用部位及び材については下記による。(代用材は使用できない)
使用部位() 材()
地域材を使用する部位及び材については下記による。
使用部位() 材()

24 ○ 1 工程関係
2 施工時期
3 他機関との協議
4 工事用地
5 公害対策
6 安全対策
7 その他

※調整無し
○別途工事との調整
調整項目
・資材等の流用 ○仮設及び工事用道路等の調整 ○建設機械等の調整
○施工順序の調整 ・図示による ・その他()

※制限無し
・制限有り
・制限する工程名()
・施工時期(・土日祝日のみ) ・図示による ・その他()
・施工時間(・時～時) ・時～時まで
・施工方法()

・有(・年 月 日 ・別紙のとおり)
・無
・有(・ : ~ : ・別紙のとおり)
・無

協議が必要な機関名()
協議完了見込み時期()

○下記以外は図示等による。
(1)工事車両の駐車場(※構内・())
(2)資材置き場(※構内・())
(3)建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所(※構内・())

・仮設ヤード ※無し ・有り(※図示による・())

※施工方法の制限無し
○施工方法の制限有り
○騒音 ○振動 ・水質 ・粉じん ・排出ガス ・その他()
・施工方法等
・指定工法名() ・別途協議による ・図示による

○事業損失防止に関する調査
・騒音測定 ・振動測定 ・水質調査 ○近隣家屋の事前・事後調査 ・地盤沈下測定
・その他()

○調査箇所
・図示による ○別途協議
・調査時期
・図示による ○(仮設工事前)

・近接公共施設等に対する制限
・近接公共施設名等(・鉄道 ○電気 ・ガス ○水道 ○電話 ○その他 認定ことも圈)
・制限を受ける工程()

※敷地内は禁煙とし、喫煙場所は別途協議による。
※当該工事現場を使用した技術研修会の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。

24 施工条件

別表-1の記入上の注意:「※を基本とし、他の発注工程が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。」

別表-1 設備工事との工事区分表

工事内容		建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他
機器の基礎	電気関係	配電盤・制御盤の基礎	※	・	・
		屋内	※	・	・
		屋外	※	・	・
		屋上	※	・	・
		自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	・	・	・
	機械関係	テレビアンテナ基礎(#)	・	・	・
		避雷針の基礎(#)	・	・	・
		屋内設備(梁台、アンカーボルトを除く)	※	・	・
		屋上設備(#)	・	・	・
		屋外設備(#)	※	・	・
開口部	梁台、アンカーボルト	・	※	※	・
	特記した基礎	※	・	・	・
	梁、床、壁	補強を要するもの	・	※	※
	貫通スリーブ	補強を要しないもの	・	※	※
	梁、床、壁	補強を要するもの	※	・	・
	貫通型挿	補強を要しないもの	※	・	・
	軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込	補強を要するもの	※	・	・
	埋込形分電盤、端子盤等の仮枠	補強を要するもの	・	※	・
	埋込形分電盤、端子盤等の仮枠	補強を要しないもの	・	※	・
	上配開口部の補強	・	※	・	・
	上配開口部の露出し	・	※	※	※
	スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む)	・	※	※	※
	フリーアクセスフロア用配線器具	・	・	・	・
	点検口	床、壁、天井	※	・	・
	外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	※	・	・
湯沸室のフード	・	・	・	・	
換気扇の取付枠	・	・	・	・	
流し台	排水トラップ共	・	・	○	
防油堤	オイルサービスタンクの防油堤	・	・	・	
床下水槽のマンホールふた	タンク基礎	・	・	・	
屋外排水管	雨水	※	・	・	
雨水立管(たてどい)	汚水、雑排水	※	・	※	
トイレ手すり	・	※	・	・	
化粧鏡(衛生器具まわり)	・	・	・	・	
はめ込洗面器用カウンター(前板)	・	・	・	・	
ガスボンベ転倒防止用の鎖	・	・	・	・	
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	※	・	・	・
	防火扉レリーズ	・	・	・	・
	電極棒	・	・	・	・
	配線ピット及びふた	※	・	・	・
	機器などへの接続(1次側)	・	・	・	・
	機器付具の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共)	・	・	・	・
	機器付具の制御盤への電源供給配管配線	※	・	・	・
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線	※	・	・	・
	自動制御盤と動力盤との制御回路の渡り配管配線	※	・	・	・
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付具操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共)	※	・	・	・
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付具操作スイッチと、その渡り配線	・	・	・	・
	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)	・	・	・	・
	煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線	※	・	・	・
	小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	・	・	・	・
	ガス漏れ検知器	・	・	・	・
電気錠	電気錠及び通電金具	※	・	・	
エレベーター出入口三方枠(金属製)	TENキー及び制御盤	・	・	・	
エレベーター出入口三方枠(石製)	・	・	・	・	
シャワーユニット	・	・	・	○	
バスユニット	・	・	・	○	
洗濯機パン	・	・	・	※	
システム天井	ボード・Tバー	・	・	・	・
	照明ライン設備プレート	・	・	・	・
	空調ライン設備プレート	・	・	・	・
消火器ボックス	・	※	・	・	
自動制御設備関連のインバーター装置及び盤	・	・	・	・	
自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)	・	・	・	・	

23 東日本大震災の復興・復興事業における積算方法等

1 資材調達

資材名	規格	調達地域等

2 労働者確保

(1)本工事は元請業者が必要とする共通費における、「共通仮設費のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方針に変更が生じ、建築関係工事積算基準(福島県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、事前に監督員と協議を行い、協議の結果により実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

管理費(共通仮設費における仮設建物費)・労働者送迎費・宿泊費・借上費
労務管理費:募集及び解散に要する費用・賞金以外の食費・通勤費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・純工事費に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

(2)本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(建築関係工事積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費について、その金額または率に占める割合は次のとおりである。
1)共通仮設費に占める、実績変更対象間接費(管理費):設計書に積上げ計上された金額
2)現場管理費に占める、実績変更対象間接費(労務管理費)の割合 %

(3)受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(4)受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めによる増加費用については、設計変更の対象としない。

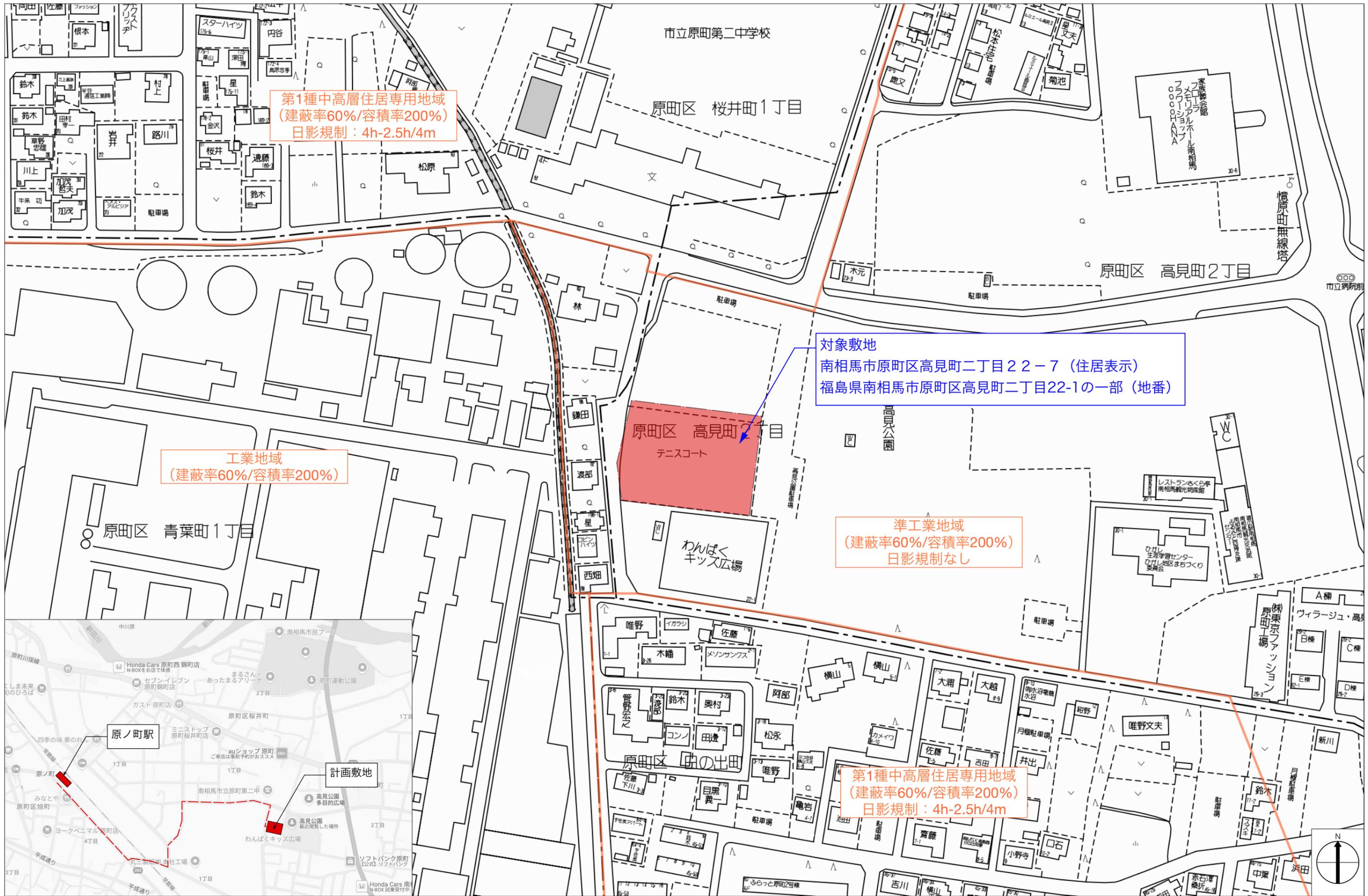
(5)発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合は、受注者が実績変更対象工事費について実際に支払った額のうち、証明書類において確認された費用から、建築関係工事積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。

(6)受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合には、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

(7)受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

設計者氏名	UDS株式会社	工事名称	南相馬市地域子育て支援拠点施設
設計士事務所名	UDS株式会社	図面名称	建築主体工事特記仕様書(9)
設計年:令和7年6月	設計者氏名	図面番号	A-09
	一級建築士 第281824号 中原典人 印		

<p>現場環境改善(快適トイレの設置)</p> <p>25</p> <p>○ 1 内容</p> <p>○ 2 設置に要する費用</p>	<p>① 受注者は、現場環境改善の一環として、工事現場毎に設置するトイレのうち男女別に1基ずつ以下の(1)～(11)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。</p> <p>(12)～(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。</p> <p>【快適トイレに求める標準仕様(全項目必須)】</p> <p>(1) 洋式(洋風)便座 (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置含む) (3) 臭い逆流防止機能 (4) 容易に開かない施錠機能 (5) 照明設備 (6) 衣類掛け等のフック、又は荷物のおける棚(耐荷重を5kg以上とする)</p> <p>【付属品として備えるもの(全項目必須)】</p> <p>(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫 (9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置) (10) 鏡と手洗器 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品</p> <p>【推奨する仕様、付属品(任意)】</p> <p>(12) 室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m²以上ではない。幅・奥行き各900mm以上) (13) 振音装置(機能を含む) (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場等(トイレトーパー予備置き場等)</p> <p>② 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考見積書(標準仕様、付属品の内訳を明示したものを添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に合わせ提出する。</p> <p>③ 現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。</p> <p>快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。月額の支出実態がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。</p>	<p>27</p> <p>・ 1 準備期間確保工事</p> <p>・ 2 フレックス工事</p> <p>○ 3 着工届の提出</p> <p>○ 4 コリンズの登録</p> <p>○ 5 福島県元請・下請関係適正化指導要綱関係</p> <p>○ 6 その他</p> <p>28</p> <p>○ 1 再生資源利用計画書</p> <p>○ 2 再生資源利用促進計画書</p>	<p>準備期間確保工事における事務処理要領</p> <p>この工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(〇〇日間)内に着工日を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、着工日(工事の始期)を通知すること。また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。</p> <p>フレックス工事執行要領</p> <p>この工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、工事の始期及び終期を通知すること。</p> <p>着工届は、着工後速やかに提出すること。</p> <p>受注時の「コリンズ登録」は、着工後に監督員の確認を受け、着工後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。</p> <p>施工体制台帳については、福島県元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出すること。</p> <p>・ 準備期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(準備期間確保工事)</p> <p>・ 工事の始期までの着工猶予期間は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、着工猶予期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(フレックス工事)</p> <p>受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</p> <p>受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</p>																			
<p>26</p> <p>(1) 工期・工程等</p> <p>○ 猛暑による作業不能日数</p>	<p>本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。</p> <p>i) 作業不能日数:7日間</p> <p>ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方相双※1(福島)地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(令和1年～6年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和 63年法律第 91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間にWBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものを5年分を平均したもの。</p> <p>iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方相双(福島)地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。</p> <p>※1 下表の観測地点を記入(参考)</p> <table border="1" data-bbox="400 1186 816 1333"> <thead> <tr> <th>建設事務所管内</th> <th>観測地点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東北</td> <td>茂庭, 梁川, 福島, 鷲倉, 二本松</td> </tr> <tr> <td>東中</td> <td>船引, 郡山, 湯本, 小野新町, 石川</td> </tr> <tr> <td>東南</td> <td>白河, 東白川</td> </tr> <tr> <td>会津若松</td> <td>金山, 若松</td> </tr> <tr> <td>喜多方</td> <td>松原, 喜多方, 西会津, 蒲苗代</td> </tr> <tr> <td>南会津</td> <td>只見, 南郷, 田島, 松枝岐</td> </tr> <tr> <td>相双</td> <td>相馬, 飯館, 淡江, 川内, 広野</td> </tr> <tr> <td>いわき</td> <td>山田, 小名浜</td> </tr> </tbody> </table>	建設事務所管内	観測地点	東北	茂庭, 梁川, 福島, 鷲倉, 二本松	東中	船引, 郡山, 湯本, 小野新町, 石川	東南	白河, 東白川	会津若松	金山, 若松	喜多方	松原, 喜多方, 西会津, 蒲苗代	南会津	只見, 南郷, 田島, 松枝岐	相双	相馬, 飯館, 淡江, 川内, 広野	いわき	山田, 小名浜	<p>29</p> <p>1 内容</p> <p>総合評価方式における技術提案書の確認</p>	<p>※総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況の確認について</p> <p>総合評価方式において、受注者が技術提案書に記載した事項の具体的な実施方法等を、施工計画書に「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」として記載し、提出しなければならない。なお、施工計画書に記載された「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」については、実施状況について発注者の確認を受けなければならない。確認の方法については、「土木工事共通仕様書 Ⅲ編 2. 様式 第8号様式(確認書)」を用いることとし、監督員へ提出の上確認を受けることを原則とする。また、技術提案事項の履行が確認できない場合は、工事成績評定において減点とする場合があるとともに、入札参加資格制限措置の対象となる場合がある。</p>	
建設事務所管内	観測地点																					
東北	茂庭, 梁川, 福島, 鷲倉, 二本松																					
東中	船引, 郡山, 湯本, 小野新町, 石川																					
東南	白河, 東白川																					
会津若松	金山, 若松																					
喜多方	松原, 喜多方, 西会津, 蒲苗代																					
南会津	只見, 南郷, 田島, 松枝岐																					
相双	相馬, 飯館, 淡江, 川内, 広野																					
いわき	山田, 小名浜																					
	<p>設計年: 令和7年6月</p>	<p>建築士事務所名</p> <p>UDS株式会社</p>	<p>工事名称</p> <p>南相馬市地域子育て支援拠点施設</p>	<p>図面番号</p> <p>A-10</p>																		
		<p>設計者氏名</p> <p>一級建築士 第281824号 中原典人 印</p>	<p>図面名称</p> <p>建築主体工事特記仕様書(10)</p>																			



第1種中高層住居専用地域
(建蔽率60%/容積率200%)
日影規制：4h-2.5h/4m

工業地域
(建蔽率60%/容積率200%)

対象敷地
南相馬市原町区高見町二丁目22-7 (住居表示)
福島県南相馬市原町区高見町二丁目22-1の一部 (地番)

準工業地域
(建蔽率60%/容積率200%)
日影規制なし

第1種中高層住居専用地域
(建蔽率60%/容積率200%)
日影規制：4h-2.5h/4m



UDS株式会社

一級建築士事務所
登録番号 東京都知事 第55547号
一級建築士 第281824号 中原 典人

PROJECT 南相馬市地域子育て支援拠点施設
TITLE 付近見取図
SCALE 1:1500,1/5000DATE 2025.06.17 SIGN 小田島

NO. A-11

■内部仕上表

階	室名	天井高	床	巾木	壁	天井	廻り縁	備考	
		(床レベル)						(FFE以外はA工事で見込む)	
1階	地下水槽	直天	CON直押え 排水溝：ウレタン塗膜防水	-	コンクリート打ち放し補修	コンクリート打ち放し補修	-	釜場：塗膜防水B-2工法	
		1FL-1529							
	風除室	CH=3,000	磁気質タイル貼 300角 t=10 モルタル下地	タイル貼 t=10 H=100	内装薄塗材E種 t=2.0 下地：GB-R t=12.5+12.5	EP	下地：GB-R t=12.5+9.5	-	インターホンパネル 郵便受、手すり
		1FL±0							
	下足・ロッカー	CH=3,000	磁気質タイル貼 300角 t=10 モルタル下地	タイル貼 t=10 H=100	内装薄塗材E種 t=2.0 下地：GB-R t=12.5+12.5	EP	下地：GB-R t=12.5+9.5	-	上框：タモCL
		1FL±0							
	コミュニティ広場	勾配天井	オーク厚突複合フローリング貼 t=15 構造用合板 t=24	木巾木 t=10 H=60	内装薄塗材E種 t=2.0 下地：GB-R t=12.5+12.5	木毛セメント板 t=12 梁：CLT構造現し		-	
		1FL±0							
	職員用玄関	CH=2,400	磁気質タイル貼 300角 t=10/塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+モルタル下地/下地合板 t=12	ビニル巾木 t=2.0 H=60 タイル巾木 t=10 H=240	ビニルクロス貼 下地：GB-R t=12.5+12.5	ビニルクロス貼 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	上框：タモCL
		1FL-179,±0							
	更衣室	CH=2,400	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板 t=12	ビニル巾木 t=2.0 H=60	ビニルクロス貼 下地：GB-R t=12.5+12.5	ビニルクロス貼 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	
		1FL±0							
	従業員用WC1・2	CH=2,400	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板 t=12	ビニル巾木 t=2.0 H=60	ビニルクロス貼 下地：GB-R t=12.5+12.5	ビニルクロス貼 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	ペーパーホルダー2連 (設備) 便器 (ウォシュレット、手洗機付) (設備) タオル掛け
		1FL±0							
	預かり保育室	CH=2,400	オーク厚突複合フローリング貼 t=15 構造用合板 t=24	木巾木 t=10 H=60	EP 下地：GB-R t=12.5+12.5	EP 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	
		1FL±0							
	静養室	CH=2,400	オーク厚突複合フローリング貼 t=15 構造用合板 t=24	木巾木 t=10 H=60	EP 下地：GB-R t=12.5+12.5	EP 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	
		1FL±0							
	洗濯・シャワー室	CH=2,400	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板 t=12	金属樹脂複合板 T=2.0 H=60	EP-G 下地：GB-R t=12.5 + GB-S t=12.5	EP-G 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	幼児用シャワーバス (設備)、オムツ替え台x1 (設備) 洗濯パン640x740 (設備)、シャワーカーテン、カーテン吊パイプ シンク (設備)
		1FL±0							
幼児用トイレ	CH=2,400	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板 t=12	金属樹脂複合板 T=2.0 H=60	EP-G 下地：GB-R t=12.5 + GB-S t=12.5 幼児用トイレパーティション	EP-G 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	幼児用手洗い (設備)、幼児用便座X2 (設備)、子供用便座X1 (設備) 幼児用小便器X2 (設備)、ライニング：ポリ合板 ペーパーホルダー (設備)	
	1FL±0								
事務室	CH=2,400	オーク厚突複合フローリング貼 t=15 構造用合板 t=24	木巾木 t=10 H=60	t2.0 内装薄塗材E種 下地：GB-R t=12.5+12.5	EP 下地：GB-R t=12.5+9.5		-		
	1FL±0								
休憩・給湯室	CH=2,100,2,400	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板 t=12	ビニル巾木 t=2.0 H=60	ビニルクロス貼 下地：GB-R t=12.5+12.5	ビニルクロス貼 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	システムキッチン (設備) ブラインドBOX、ロールブラインド	
	1FL±0								
打ち合わせ室	CH=2,100,2,400	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板 t=12	ビニル巾木 t=2.0 H=60	ビニルクロス貼 下地：GB-R t=12.5+12.5	ビニルクロス貼 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	ブラインドBOX、ロールブラインド	
	1FL±0								
廊下	CH=2,400	オーク厚突複合フローリング貼 t=15 構造用合板 t=24	木巾木 t=10 H=60	内装薄塗材E種 t=2.0 下地：GB-R t=12.5+12.5	EP 下地：GB-R t=12.5+9.5		-		
	1FL±0								
だれでも交流広場 休憩コーナー	勾配天井 / CH=2,400	オーク厚突複合フローリング貼 t=15 構造用合板 t=24	木巾木 t=10 H=60	内装薄塗材E種 t=2.0 下地：GB-R t=12.5+12.5	t12 木毛セメント板 梁：構造現し		-	ブラインドBOX、パーチカルブラインド	
	1FL±0								
カームダウン室	CH=2,100,2,400	塩ビ畳 t15 構造用合板 t24	木巾木 t=10 H=60	内装薄塗材E種 t=2.0 下地：GB-R t=12.5+12.5	EP 下地：GB-R t=12.5+9.5		-		
	1FL±0								
遊具備品庫	CH=2,100,2,400	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板 t=12	ビニル巾木 t=2.0 H=60	EP 下地：GB-R t=12.5+12.5	EP 下地：GB-R t=12.5+9.5		-		
	1FL±0								
講習室	勾配天井 / CH=2,400	オーク厚突複合フローリング貼 t15 構造用合板 t24	木巾木 t=10 H=60	内装薄塗材E種 t=2.0 下地：GB-R t=12.5+12.5	t12 木毛セメント板 / EP 梁：構造現し / 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	ブラインドBOX、パーチカルブラインド	
	1FL±0								
倉庫1・2・3 収納	CH=2,100,2,400	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板 t=12	ビニル巾木 t=2.0 H=60	EP 下地：GB-R t=12.5+12.5	EP 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	ブラインドBOX、ロールブラインド (倉庫1のみ)	
	1FL±0								
作業室	CH=2,100,2,400	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板 t=12	ビニル巾木 t=2.0 H=60	EP 下地：GB-R t=12.5 + GB-S t=12.5	EP 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	手洗い台 (水洗3箇所) (設備)、ブラインドBOX、 ロールブラインド	
	1FL±0								
診察室	CH=2,100,2,400	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板 t=12	ビニル巾木 t=2.0 H=60	EP 下地：GB-R t=12.5+12.5	EP 下地：GB-R t=12.5+9.5		-	ブラインドBOX、ロールブラインド	
	1FL±0								

※法37条の規定により、指定建築材料はJIS・JASを用いること

■内部仕上表

階	室名	天井高	床	巾木	壁	天井	廻り縁	備考
		(床レベル)						(FFE以外はA工事で見込む)
1階	計測室	CH=2,100,2,400 1FL±0	塩ビタイル貼 t=2.0 構造用合板 t=24+下地合板t=12	ビニル巾木 t=2.0 H=60	EP 下地: GB-R12.5+12.5	EP 下地: GB-R t=12.5+9.5	-	ブラインドボックス、ロールブラインド
	男性用トイレ	CH=2,400 1FL±0	磁気質タイル貼 300角 t=10 モルタル下地	金属樹脂複合板 T=2.0 H=60	EP-G 下地: GB-R t=12.5 + GB-S t=12.5 トイレパーテーション	EP-G 下地: GB-R t=12.5+9.5	-	ハンドドライヤー (設備)、ペーパーホルダー2連 (設備)、ライニング (人造大理石) 便器 (大人X2、幼児X1) (ウォシュレット付) (設備) 小便器 (大人X2、幼児X1) (設備)、 洗面台 (設備)、自動水栓X2 (設備)、ソープディスペンサーX2 (設備)、ペーパーチェアX3 (設備)
	女性用トイレ	CH=2,400 1FL±0	磁気質タイル貼 300角 t=10 モルタル下地	金属樹脂複合板 T=2.0 H=60	EP-G 下地: GB-R t=12.5 + GB-S t=12.5 トイレパーテーション	EP-G 下地: GB-R t=12.5+9.5	-	ハンドドライヤー (設備)、ペーパーホルダー2連 (設備)、ライニング (人造大理石) 便器 (大人X3、幼児X1) (ウォシュレット付) (設備)、ペーパーチェアX3 (設備) 洗面台 (設備)、自動水栓X4 (設備)、ソープディスペンサーX4 (設備)
	多目的トイレ	CH=2,400 1FL±0	磁気質タイル貼 300角 t=10 モルタル下地	金属樹脂複合板 T=2.0 H=60	EP-G 下地: GB-R12.5+GB-S12.5	EP-G 下地: GB-R t=12.5+9.5	-	バリアフリー多目的トイレバック (設備) (オストメイト、ペーパーチェア、フィッティングボード、手洗い機 便座、ウォシュレット、手すり、鏡、ペーパーホルダー、子供用便座カバー)
	SK	CH=2,400 1FL±0	磁気質タイル貼 300角 t=10 モルタル下地	ビニル巾木 t=2.0 H=60	EP-G 下地: GB-R12.5+12.5	EP-G 下地: GB-R t=12.5+9.5	-	清掃用シンク (設備)
	授乳室	CH=2,400 1FL±0	塩ビ畳 t15 構造用合板 t=24	木巾木 t=10 H=60	ビニルクロス貼 下地: GB-R12.5+12.5	ビニルクロス貼 下地: GB-R t=12.5+9.5	-	
	おむつ替えコーナー	CH=2,400 1FL±0	オーク厚突複合フローリング貼 t=15 構造用合板 t=24	木巾木 t=10 H=60	ビニルクロス貼 下地: GB-R12.5+12.5	ビニルクロス貼 下地: GB-R t=12.5+9.5	-	おむつ交換台X2 (設備)、調乳用温水器シンク一体型 (設備) フィッティングボード (設備)
	ことばの教室	CH=2,100,2,400 1FL±0	オーク厚突複合フローリング貼 t=15 構造用合板 t=24	木巾木 t=10 H=60	ビニルクロス貼 下地: GB-R12.5+12.5	ビニルクロス貼 下地: GB-R t=12.5+9.5	-	ブラインドボックス、ロールブラインド
	相談室	CH=2,100,2,400 1FL±0	オーク厚突複合フローリング貼 t=15 構造用合板 t=24	木巾木 t=10 H=60	ビニルクロス貼 下地: GB-R12.5+12.5	ビニルクロス貼 下地: GB-R t=12.5+9.5	-	ブラインドボックス、ロールブラインド
	ポンプ室 (地下水槽)	CH=2,400 1FL-167	防塵塗装	H=300 SUS-PL	EP-G 下地: GB-R12.5+12.5+t6 ケイカル板	EP-G 下地: GB-R t=12.5+9.5 + ケイカル板 t6	-	マンホール、設備基礎 水槽内: 塗膜防水B-2工法

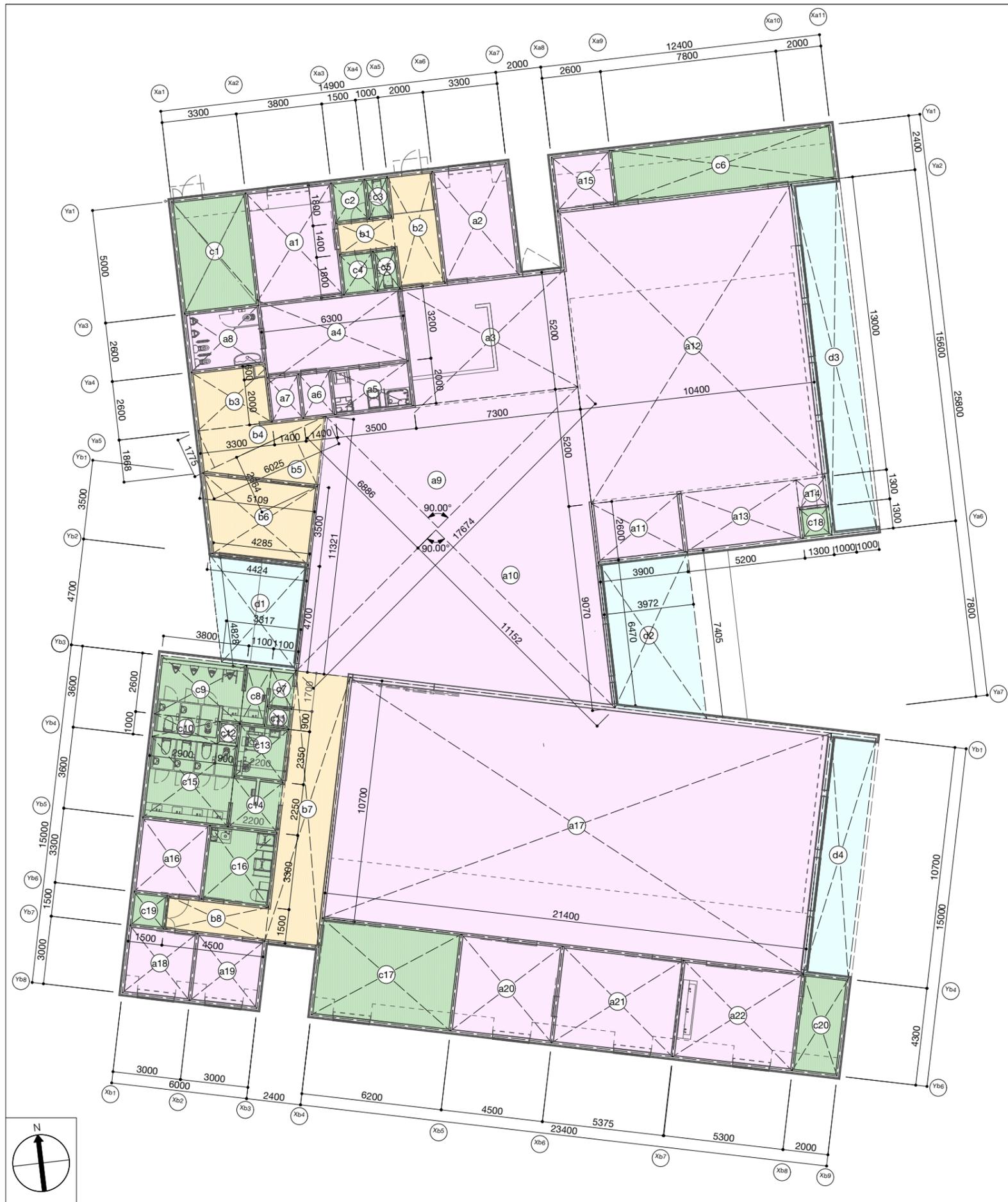
その他	天井点検口	30箇所 450角	認定番号	材料名	認定番号	アルミニウム製の防火戸
			QM-9812	内装薄塗材E種: 準不燃	EB-9101	アルミニウム合金製FIX窓
			RM-9361	内装薄塗材E種: 難燃	EB-9105	アルミニウム合金製内倒し窓
			QM-9210	紙系壁紙: 準不燃	EB-9102	アルミニウム合金製引違窓
			QM-9812	紙系壁紙: 難燃	EB-9107	アルミニウム合金製開き窓
			NM-8612	石膏ボード t=12.5: 不燃		
			QM-9829	石膏ボード t=9.5: 準不燃		
			NM-8576	珪酸カルシウム板・フレキシブルボード: 不燃		
			QM-0327	オレフィンクロス: 準不燃		
			QM-9701	木毛セメント板: 準不燃		
				ブラインド・パーチカルブラインドについては防火性能を有する製品を使用する		

法37条の規定により、指定建築材料はJIS・JASを用いること



東京都渋谷区代々木2-28-7 代々木NTビル1F
登録番号 東京都知事 55547号
一級建築士 第281824号 中原 典人

PROJECT: 南相馬市地域子育て支援拠点施設
TITLE: 内部仕上表 (2)
SCALE: - DATE: 2026.07.14 SIGN: 小田島



求積表

居室				
a1	3.800 × 5.000	=	19.000	
a2	3.300 × 5.000	=	16.500	
a3	7.300 × 5.200	=	37.960	
a4	6.300 × 3.200	=	20.160	
a5	3.500 × 2.000	=	7.000	
a6	1.400 × 2.000	=	2.800	
a7	1.400 × 2.000	=	2.800	
a8	3.300 × 2.600	=	8.580	
a9	17.674 × 6.886 ÷ 2	=	60.852	
a10	17.674 × 11.152 ÷ 2	=	98.550	159.402
a11	3.900 × 2.600	=	10.140	
a12	10.400 × 13.000	=	135.200	
a13	5.200 × 2.600	=	13.520	
a14	1.300 × 1.300	=	1.690	160.550
a15	2.600 × 2.400	=	6.240	
a16	3.000 × 3.300	=	9.900	
a17	21.400 × 10.700	=	228.980	
a18	3.000 × 3.000	=	9.000	
a19	3.000 × 3.000	=	9.000	
a20	4.500 × 4.300	=	19.350	
a21	5.375 × 4.300	=	23.113	
a22	5.300 × 4.300	=	22.790	
合計①			763.124	

非居室(廊下)				
b1	2.500 × 1.400	=	3.500	
b2	2.000 × 5.000	=	10.000	13.500
b3	3.300 × 2.600	=	8.580	
b4	6.025 × 1.775 ÷ 2	=	5.347	
b5	6.025 × 2.664 ÷ 2	=	8.025	21.952
b6	(5.109 + 4.285) × 3.500 ÷ 2	=	16.440	
b7	2.400 × 12.000	=	28.800	
b8	4.500 × 1.500	=	6.750	35.550
合計②			87.442	

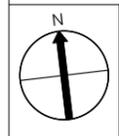
非居室(廊下以外)				
c1	3.300 × 5.000	=	16.500	
c2	1.500 × 1.800	=	2.700	
c3	1.000 × 1.800	=	1.800	
c4	1.500 × 1.800	=	2.700	
c5	1.000 × 1.800	=	1.800	
c6	9.800 × 2.400	=	23.520	
c7	1.100 × 1.700	=	1.870	
c8	1.100 × 2.600	=	2.860	
c9	3.800 × 2.600	=	9.880	
c10	2.900 × 1.000	=	2.900	17.510
c11	1.100 × 0.900	=	0.990	
c12	0.900 × 1.000	=	0.900	
c13	2.200 × 2.350	=	5.170	
c14	2.200 × 2.250	=	4.950	
c15	3.800 × 3.600	=	13.680	18.630
c16	3.000 × 3.300	=	9.900	
c17	6.200 × 4.300	=	26.660	
c18	1.300 × 1.300	=	1.690	
c19	1.500 × 1.500	=	2.250	
c20	2.000 × 4.300	=	8.600	
合計③			141.320	

底・ピロティ				
d1	(4.424 + 3.317) × 4.700 ÷ 2	=	18.191	
d2	(6.470 + 7.405) × 3.972 ÷ 2	=	27.556	
d3	2.000 × 15.600	=	31.200	
d4	2.000 × 10.700	=	21.400	
合計④			98.347	

延床面積(①+②+③) = 991.886
→ 991.89㎡

建築面積(①+②+③+④) = 1090.233
→ 1090.23㎡

※計画案は詳細な行政協議により変更になる可能性があります。

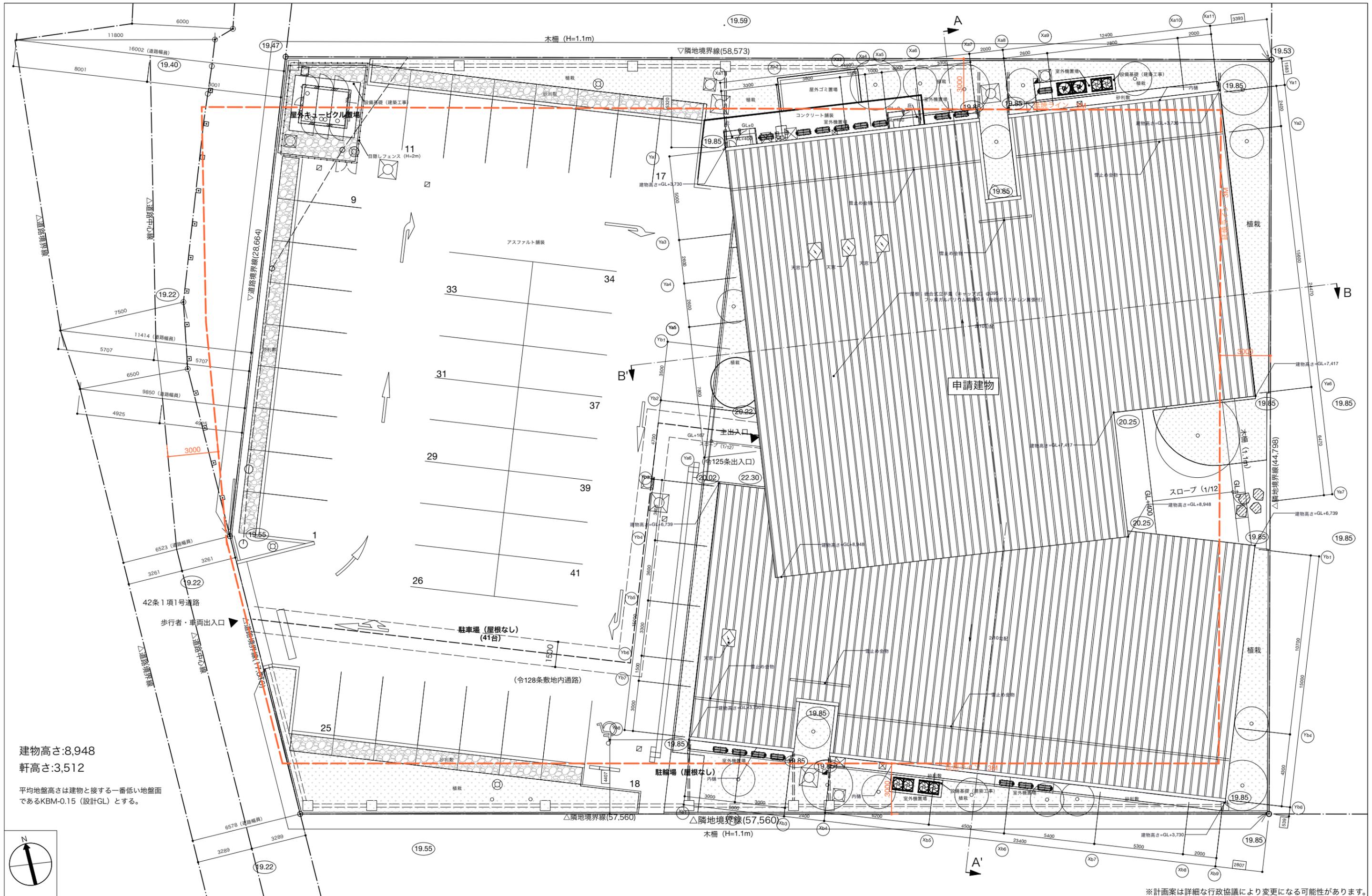


UDS株式会社

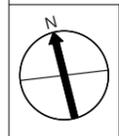
一級建築士事務所
登録番号 東京都知事 第55547号
一級建築士 第281824号 中原 典人

PROJECT. 南相馬市地域子育て支援拠点施設
TITLE. 求積図
SCALE. 1:200 DATE. 2025.06.23 SIGN. 小田島

NO. A-15



建物高さ:8,948
軒高さ:3,512
平均地盤高さは建物と接する一番低い地盤面であるKBM-0.15 (設計GL) とする。



※計画案は詳細な行政協議により変更になる可能性があります。



※計画案は詳細な行政協議により変更になる可能性があります。

